

平成27年度中間期決算説明会

平成27年12月2日

株式会社山口フィナンシャルグループ 代表取締役社長 福田 浩一



平成27年度中間期の業績概要

平成27年度中間決算の概要(グループ連結)

(億円)		平成26年度 中間期	平成27年度 中間期	前年 同期比	平成27年度 通期予想
経常収益	1	749	821	72	1,560
コア業務粗利益	2	555	542	▲ 12	1,140
資金利益	3	469	464	▲ 5	
役務取引等利益	4	81	84	2	
その他業務利益	5	4	▲ 6	▲ 10	
経費(△) (除く臨時処理分)	6	424	394	▲ 30	
コア業務純益	7	130	148	17	345
臨時損益	8	28	85	56	
うち株式等関係損益	9	6	56	50	
経常利益	10	210	259	49	500
中間純利益	11	134	174	40	315
与信関係費用(△)	12	▲ 26	▲ 14	12	

※単位未満は切捨て表示。

決算概要

中間期としては過去最高益を計上

～有価証券関係損益の増加や経費減少が主因

・経常利益は259億円となり、前年同期比+49億円となりました。

・中間純利益は174億円となり、前年同期比+40億円となりました。

連単差

3行合算中間純利益	204億円
のれん償却費(もみじ銀行他)	△24億円
FG連結調整等	△6億円
YMFG連結中間純利益	174億円

平成27年度中間決算の概要(3行合算)

(億円)		平成26年度	平成27年度	前年 同期比	平成27年度 通期予想
		中間期	中間期		
経常収益	1	695	746	51	1,411
コア業務粗利益	2	527	518	▲ 8	1,079
資金利益	3	473	478	5	
役務取引等利益	4	60	62	1	
その他業務利益	5	▲ 7	▲ 22	▲ 14	
経費(△) (除く臨時処理分)	6	383	350	▲ 32	
コア業務純益	7	143	168	24	372
臨時損益	8	3	65	62	
うち株式等関係損益	9	6	56	50	
経常利益	10	225	282	56	525
中間純利益	11	155	204	49	355
与信関係費用(△)	12	▲ 27	▲ 14	12	

※単位未満は切捨て表示。

決算概要

増収・増益決算

- ～有価証券関係損益の増加や経費減少
- ・経常利益は282億円となり、前年同期比+56億円となりました。
 - ・中間純利益は204億円となり、前年同期比+49億円となりました。

資金利益

	H27/9	前年同期比
資金利益(億円)	478	5
資金運用収益	516	3
貸出金利息	387	△7
有価証券利息	120	8
資金調達費用	38	△ 1

株式関係損益

	H27/9
株式関係損益(億円)	56
売却益	64
売却損(△)	7

平成27年度中間決算の概要(山口銀行)

(億円)

		H26年度 中間期	H27年度 中間期	H27年度 通期見込	
				前年同期比	
経常収益	1	405	433	28	795
業務粗利益	2	325	305	▲ 19	
資金利益	3	258	259	1	
役務取引等利益	4	37	39	2	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	29 (35)	6 (29)	▲ 23 (▲ 5)	
経費(除く臨時処理分)(△)	6	189	166	▲ 23	
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	▲ 6	▲ 6	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	135	139	3	
コア業務純益	9	99	109	9	266
臨時損益	10	12	38	26	
うち株式等関係損益	11	3	33	30	
うち不良債権処理額(△)	12	0	6	6	
うち貸倒引当金戻入益	13	10	-	▲ 10	
うち償却債権取立益	14	0	0	▲ 0	
経常利益	15	147	184	36	350
特別損益	16	▲ 0	12	12	
税引前中間純利益	17	147	196	48	
中間純利益	18	98	132	33	235
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 10	0	10	

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

中間期としては過去最高益を計上

～有価証券関係損益の増加や経費の減少が主因

- ・経常利益は184億円となり、前年同期比+36億円となりました。
- ・中間純利益は132億円となり、前年同期比+33億円となりました。

株式関係損益

	H27/9
株式関係損益(億円)	33
売却益	36
売却損(△)	2

平成27年度中間決算の概要(もみじ銀行)

(億円)

		H26年度 中間期	H27年度 中間期	H27年度 通期見込	
				前年同期比	
経常収益	1	245	259	▲ 14	485
業務粗利益	2	198	185	▲ 13	
資金利益	3	165	168	▲ 2	
役務取引等利益	4	19	18	▲ 0	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	13 (15)	▲2 (▲2)	▲16 (▲18)	
経費(除く臨時処理分)(△)	6	148	137	▲ 11	
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	50	48	▲ 2	
コア業務純益	9	34	50	15	84
臨時損益	10	10	36	25	
うち株式等関係損益	11	3	19	16	
うち不良債権処理額(△)	12	1	0	▲ 0	
うち貸倒引当金戻入益	13	8	16	7	
うち償却債権取立益	14	2	0	▲ 2	
経常利益	15	60	84	23	145
特別損益	16	▲ 0	▲ 0	0	
税引前中間純利益	17	60	84	23	
中間純利益	18	45	63	17	100
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 10	▲ 15	▲ 5	

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

3期振りの増収増益

～貸倒引当金戻入益の増加や経費の減少が主因

- ・経常利益は84億円となり、前年同期比+23億円となりました。
- ・中間純利益は63億円となり、前年同期比+17億円となりました。

株式関係損益

	H27/9
株式関係損益(億円)	19
売却益	24
売却損(△)	4

平成27年度中間決算の概要(北九州銀行)

(億円)

		H26年度 中間期	H27年度 中間期	H27年度 通期見込	
				前年同期比	
経常収益	1	71	70	▲ 1	145
業務粗利益	2	54	55	0	
資金利益	3	49	50	1	
役務取引等利益	4	4	3	▲ 1	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
経費(除く臨時処理分)(△)	6	45	46	1	
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	9	8	▲ 0	
コア業務純益	9	9	8	▲ 0	22
臨時損益	10	8	5	▲ 2	
うち株式等関係損益	11	▲ 0	3	3	
うち不良債権処理額(△)	12	0	0	0	
うち貸倒引当金戻入益	13	7	0	▲ 7	
うち償却債権取立益	14	0	-	▲ 0	
経常利益	15	17	14	▲ 3	30
特別損益	16	▲ 0	▲ 0	▲ 0	
税引前中間純利益	17	17	14	▲ 3	
中間純利益	18	10	9	▲ 1	20
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 7	0	7	

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

減収減益で、2期振りの減収

～貸倒引当金戻入益の減少が主因

- ・経常利益は14億円となり、前年同期比▲3億円となりました。
- ・中間純利益は9億円となり、前年同期比▲1億円となりました。

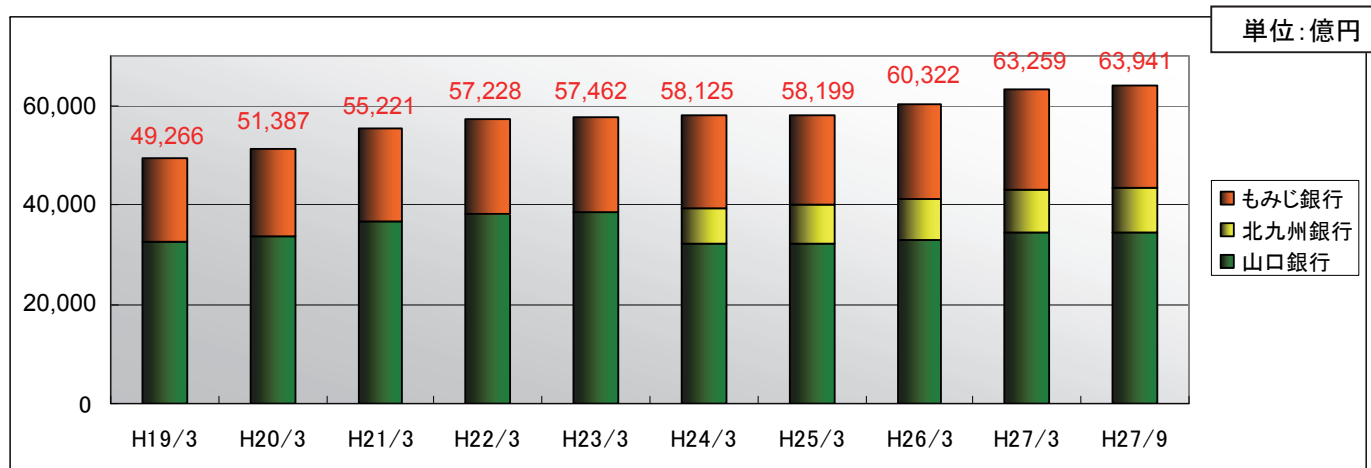
株式関係損益

	H27/9
株式関係損益(億円)	3
売却益	3
売却損(△)	0

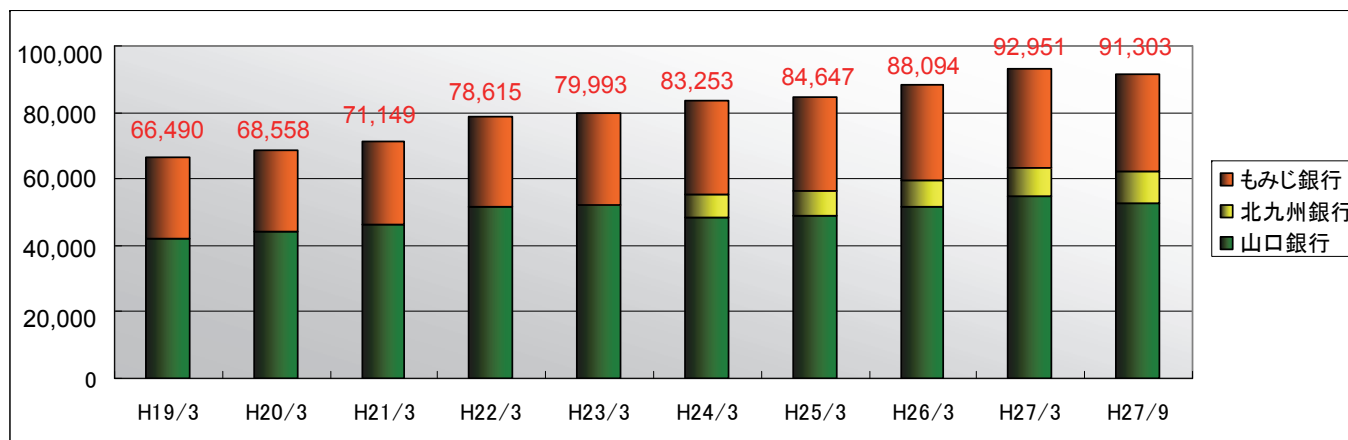
預貸金の状況

- ▶ 山口フィナンシャルグループ設立以降、預貸金は順調に増加。
- ▶ 3行合算で総貸出金はH26/3期に6兆円、総預金はH27/3期に9兆円を突破。

貸出金



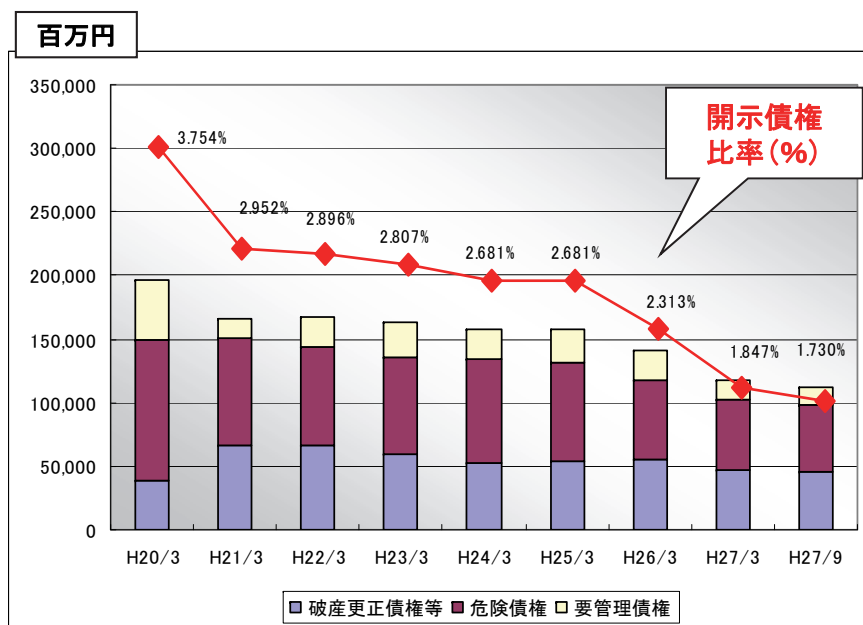
預金



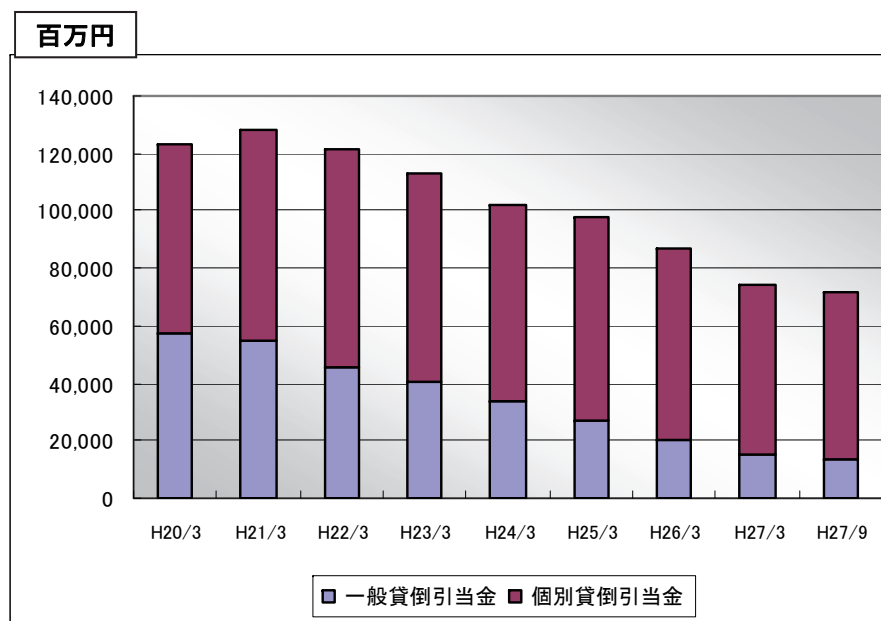
不良債権の状況

- ▶ 金融再生法開示債権残高は年次減少、同比率も遞減傾向。
- ▶ 与信関係費用については、足元は引当金戻入益の減少傾向。

金融再生法開示債権残高（3行合算）



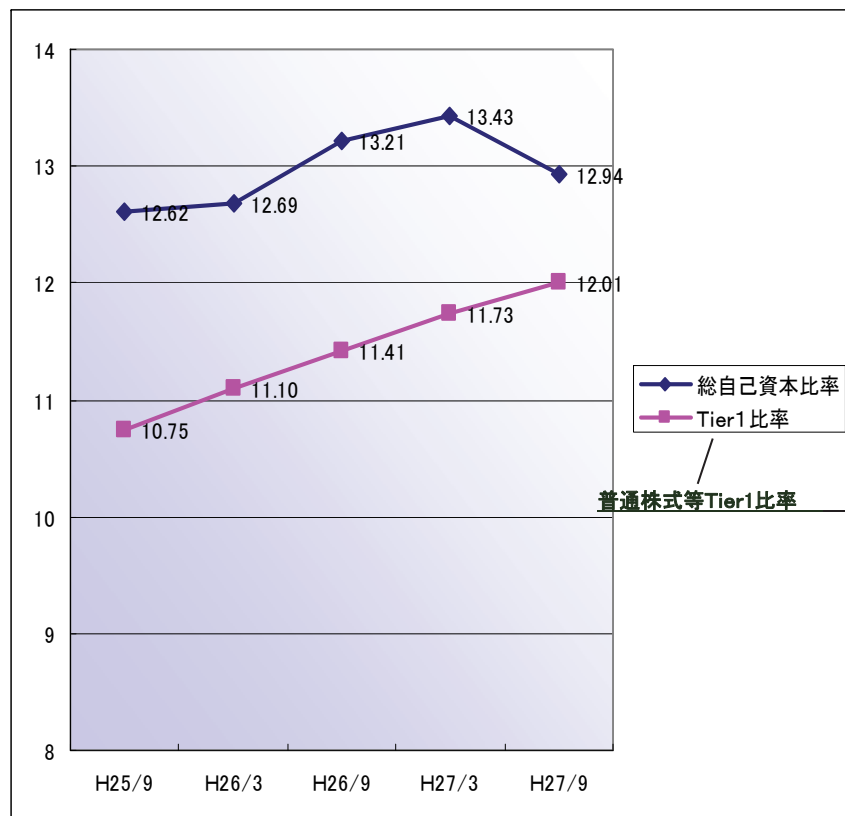
貸倒引当金の状況



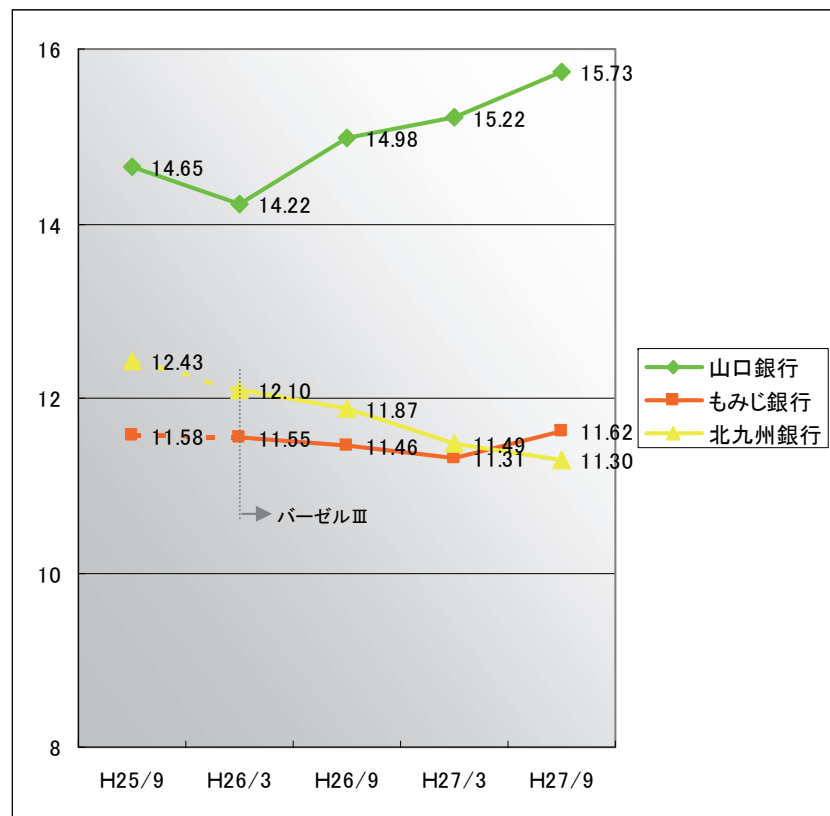
自己資本比率の推移

- ▶ 山口FG連結で、平成27年9月末 12.94% (総自己資本比率)、12.01% (Tier1比率) の実績。
- ▶ 引き続き安定的な水準を確保していく。

山口フィナンシャルグループ連結



グループ3行の総自己資本比率



預貸金利回の状況

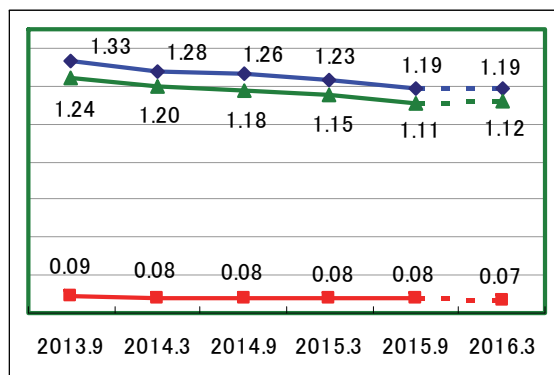
- ▶ 貸出金利回りは市場金利低下等の影響により漸減傾向。
- ▶ 山口銀行・北九州銀行は概ね期初計画どおり、もみじ銀行は計画をやや下回っている状況。

貸出金利回り

預貸金単純利鞘

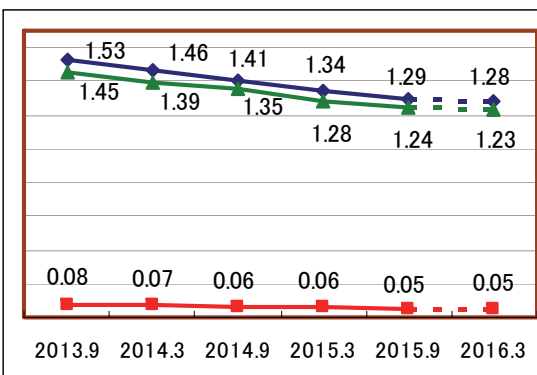
預金利回り

山口銀行



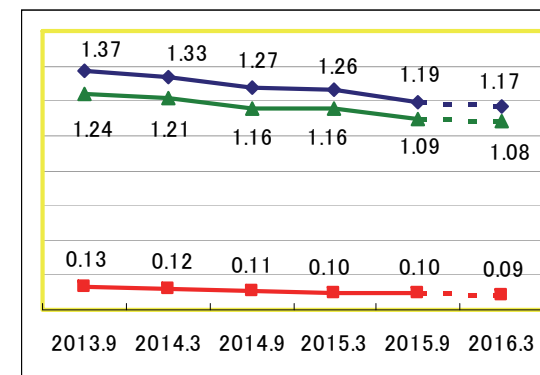
・平成27年9月期実績は1.19%（前年同期比△0.07%、前期比△0.04%）。
 ・期初計画からは△0.01%と概ね計画どおりの進捗。

もみじ銀行



・平成27年9月期実績は1.29%（前年同期比△0.12%、前期比△0.05%）。
 ・期初計画からは△0.03%とやや下振れとなっている。

北九州銀行

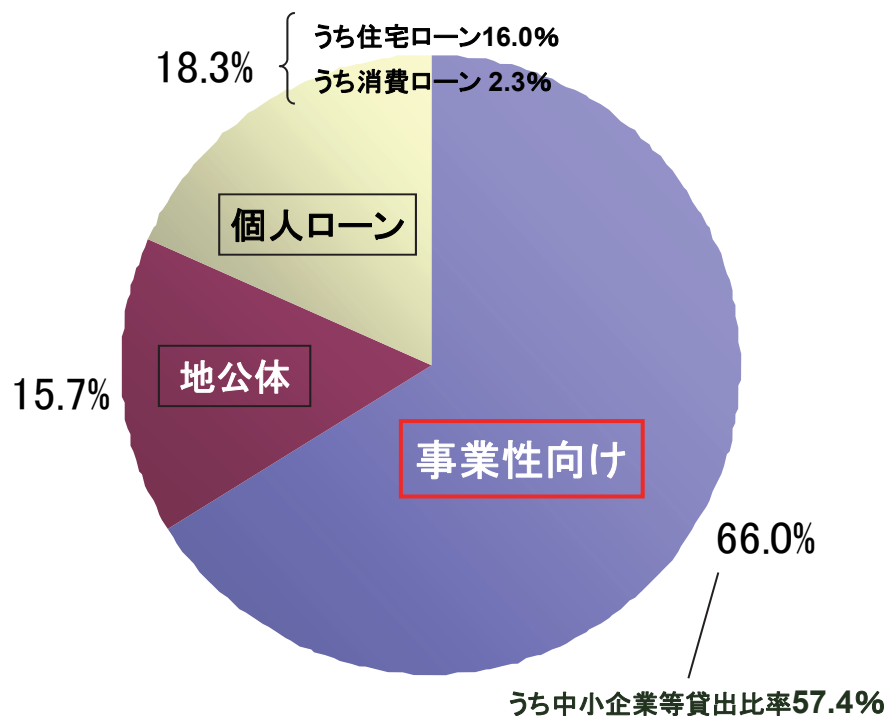


・平成27年9月期実績は1.19%（前年同期比△0.08%、前期比△0.07%）。
 ・期初計画からは△0.01%と概ね計画どおりの進捗。

貸出金ポートフォリオ

- ▶ グループ3行共に、事業性向け(法人・個人事業主)貸出が全体ポートの2/3。
- ▶ 事業性向け貸出・個人ローンは積み上げ余地があり、今後も重点推進していく。

貸出ポートフォリオ(3行合算)

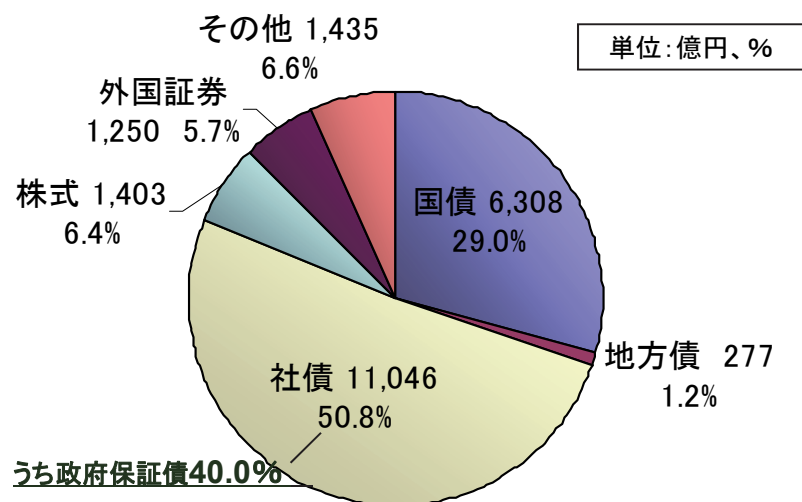


	H27/9	残高 (億円)		割合 (%)	
			前年同期比		前年同期比
3行合算	事業性向け	41,980	1,090	66.0%	-1.2%
	地公体	10,000	1,014	15.7%	1.0%
	個人ローン	11,647	636	18.3%	0.2%
	計	63,628	2,740	100.0%	0.0%
山口銀行	事業性向け	22,989	611	67.4%	-0.6%
	地公体	5,624	329	16.5%	0.4%
	個人ローン	5,509	252	16.1%	0.2%
	計	34,123	1,192	100.0%	0.0%
もみじ銀行	事業性向け	12,366	212	60.5%	-1.7%
	地公体	3,511	462	17.2%	1.6%
	個人ローン	4,551	216	22.3%	0.1%
	計	20,429	890	100.0%	0.0%
北九州銀行	事業性向け	6,624	268	73.0%	-2.5%
	地公体	864	222	9.5%	1.9%
	個人ローン	1,586	168	17.5%	0.6%
	計	9,074	657	100.0%	0.0%

有価証券ポートフォリオ

▶ 足元のポジションとして、利回りの比較的高い政保債が増加。

有価証券ポートフォリオ（3行合算）



単位: 億円

	27/3末	27/9末	27/3比
国債	7,363	6,308	▲ 1,055
地方債	403	277	▲ 126
社債	11,044	11,046	2
うち政府保証債	8,489	8,691	202
株式	1,449	1,403	▲ 46
外国証券	1,483	1,250	▲ 233
その他	1,493	1,435	▲ 58
計	23,237	21,721	▲ 1,516

保有債券デュレーション（年）

	H26/3	H26/9	H27/3	H27/9
山口銀行				
国内債	4.30	4.50	4.31	4.49
外国債	3.75	4.34	5.36	4.67
もみじ銀行				
国内債	4.44	4.03	3.63	3.81
外国債	3.35	2.68	2.67	2.22
北九州銀行				
国内債	6.60	9.98	9.61	9.46
外国債			-	-

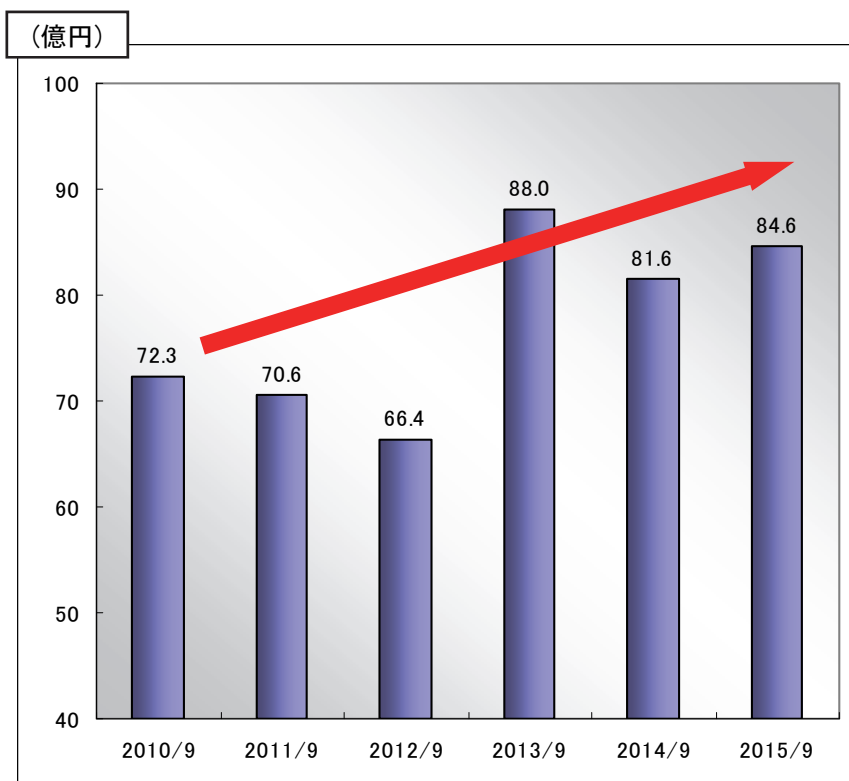
有価証券評価損益（平成27年9月期：億円）

	山口	もみじ	北九州	合計
株式	550	39	107	697
債券	128	44	4	177
その他	△ 52	△ 42	-	△ 94
合計	626	42	111	779

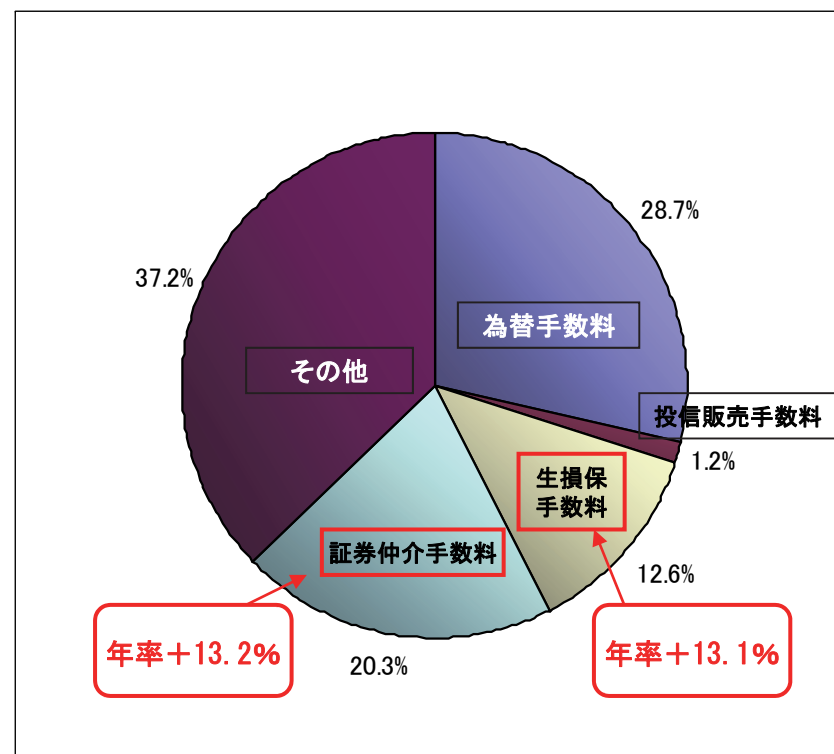
役務収益の状況

- ▶ グループ全体として役務取引等利益は増加傾向。
- ▶ 個人預り資産は、投信・仕組債・株式ニーズはワイエム証券へ仲介、保険ニーズは3銀行が対応。

役務取引等利益の推移（グループ連結）

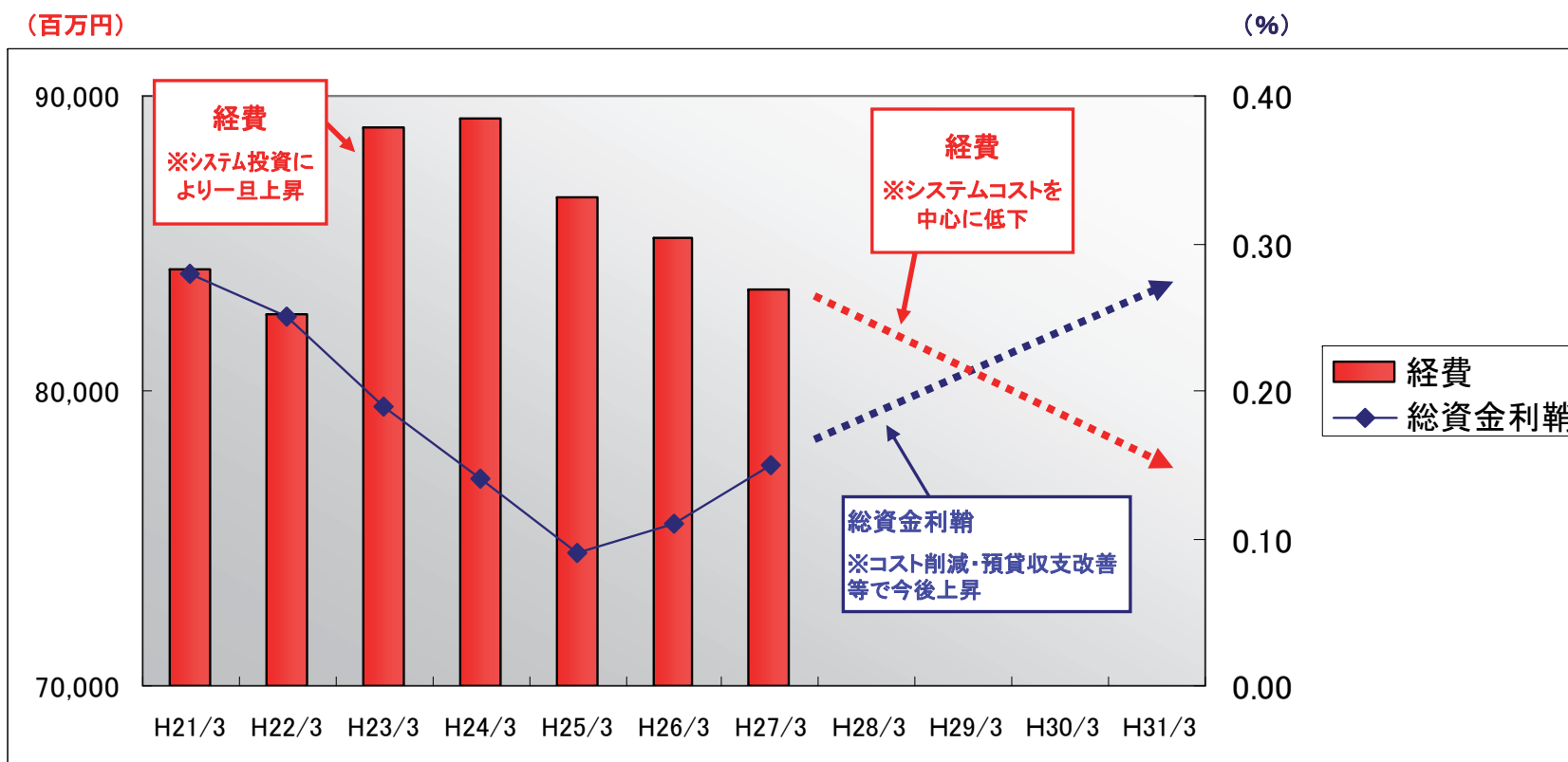


役務収益の内訳（3行合算）



経費及び総資金利鞘の推移

- ・ 共同化システム償却が順次終了するため、経費は低下傾向。
- ・ 経費のスポット増等で低下していた総資金利鞘も今後は増加トレンドへ。

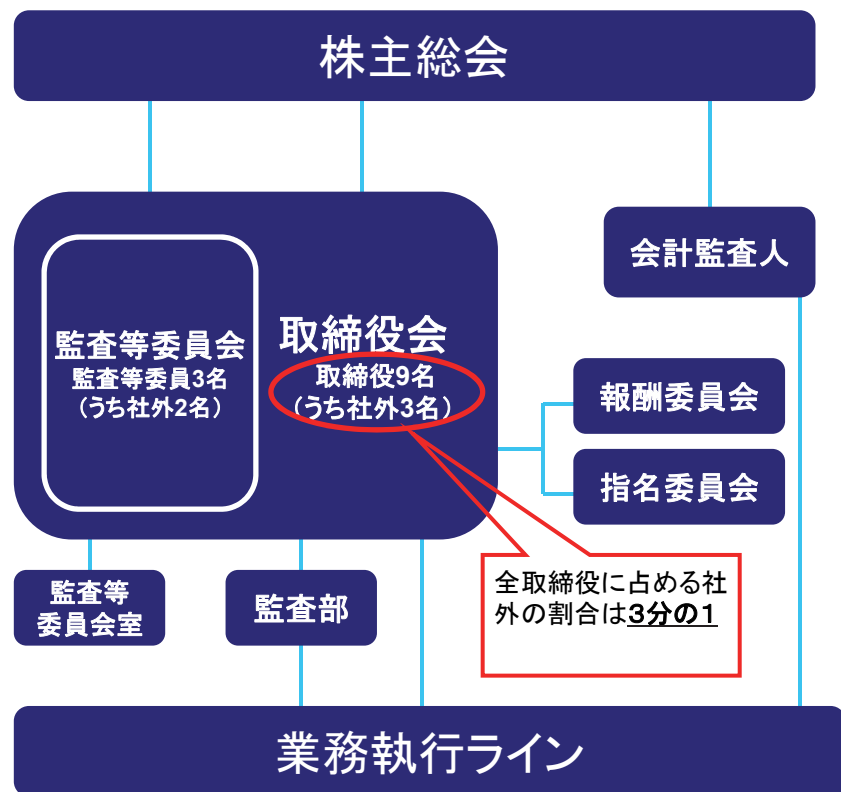


ガバナンスについて

YMF Gはコーポレート・ガバナンス整備を重視しています。

監査等委員会の設置

当社は平成27年6月に監査等委員会設置会社へ移行し、同時に当社取締役9名に対し、3分の1にあたる3名の社外取締役体制となりました。



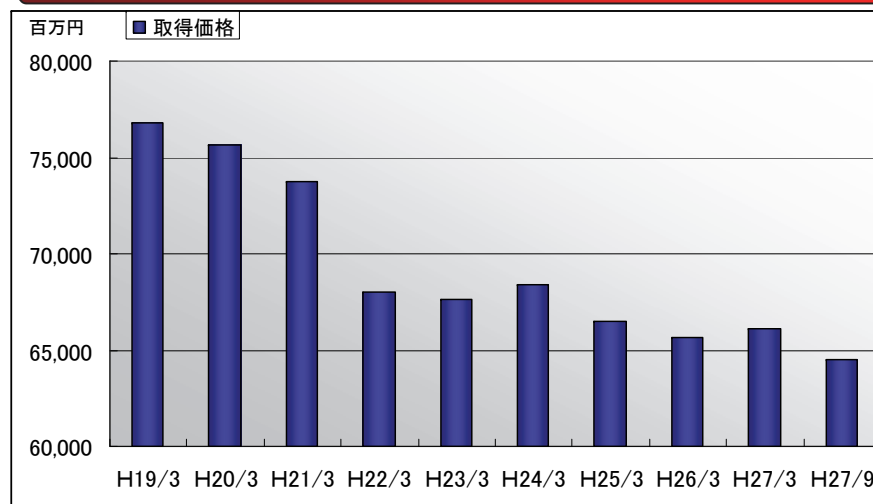
政策投資株式について

政策保有に関する方針(原則1-4)

当社は以下の方針に基づき、上場株式の政策保有を決定しております。

- ・政策投資株式については、当社グループ及び政策投資先双方の中長期的な企業価値の向上に資するか否かといった観点などから総合的に保有の是非を判断し、保有の合理性が認められる場合を除いて保有しません。
- ・保有する政策投資株式および政策投資先との取引のリスクとリターンを定期的に検証し、当該政策投資先との取引関係なども含めた総合的な見地から政策保有の是非を判断します。

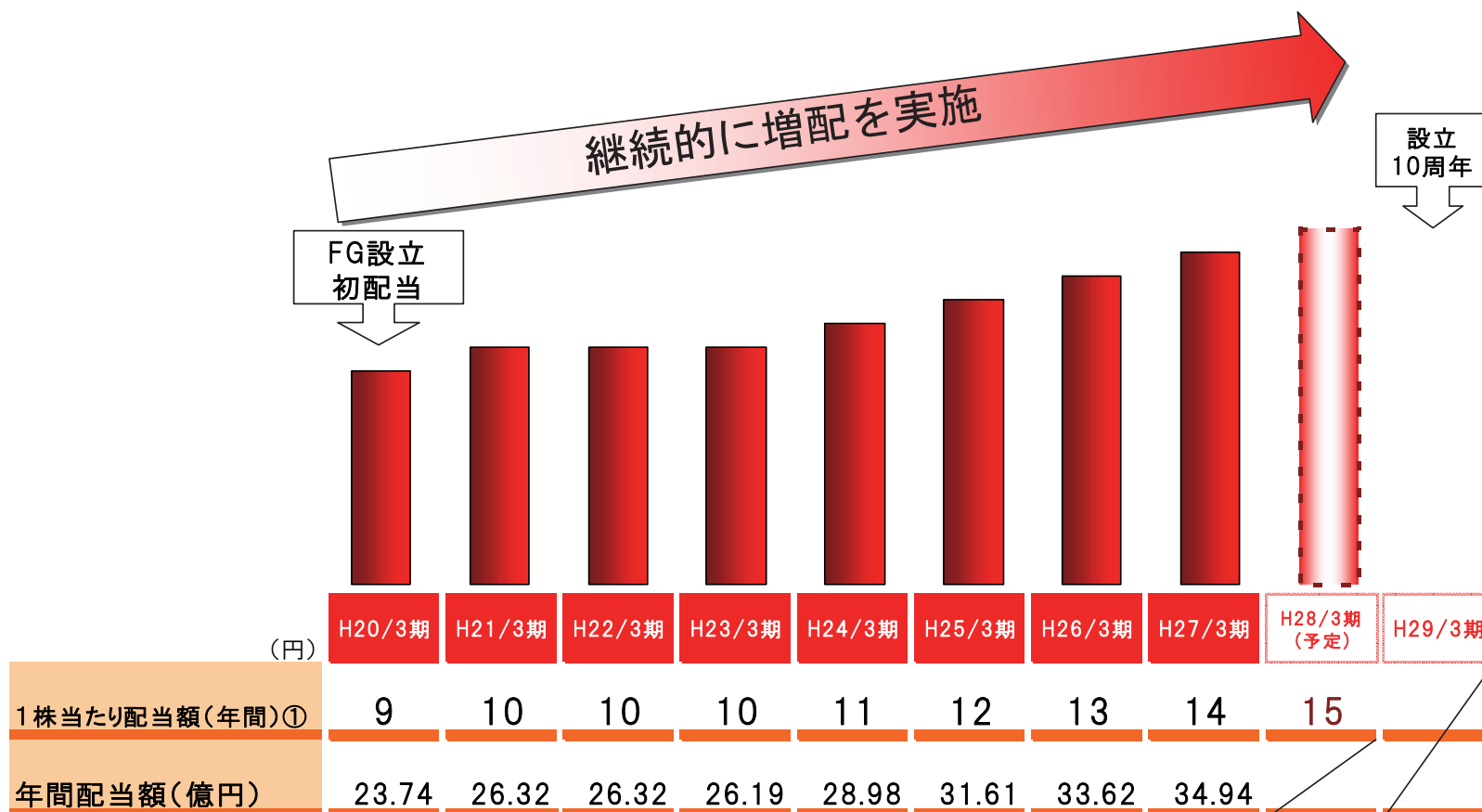
政策投資株式の残高推移(取得価格)



Yamaguchi Financial Group

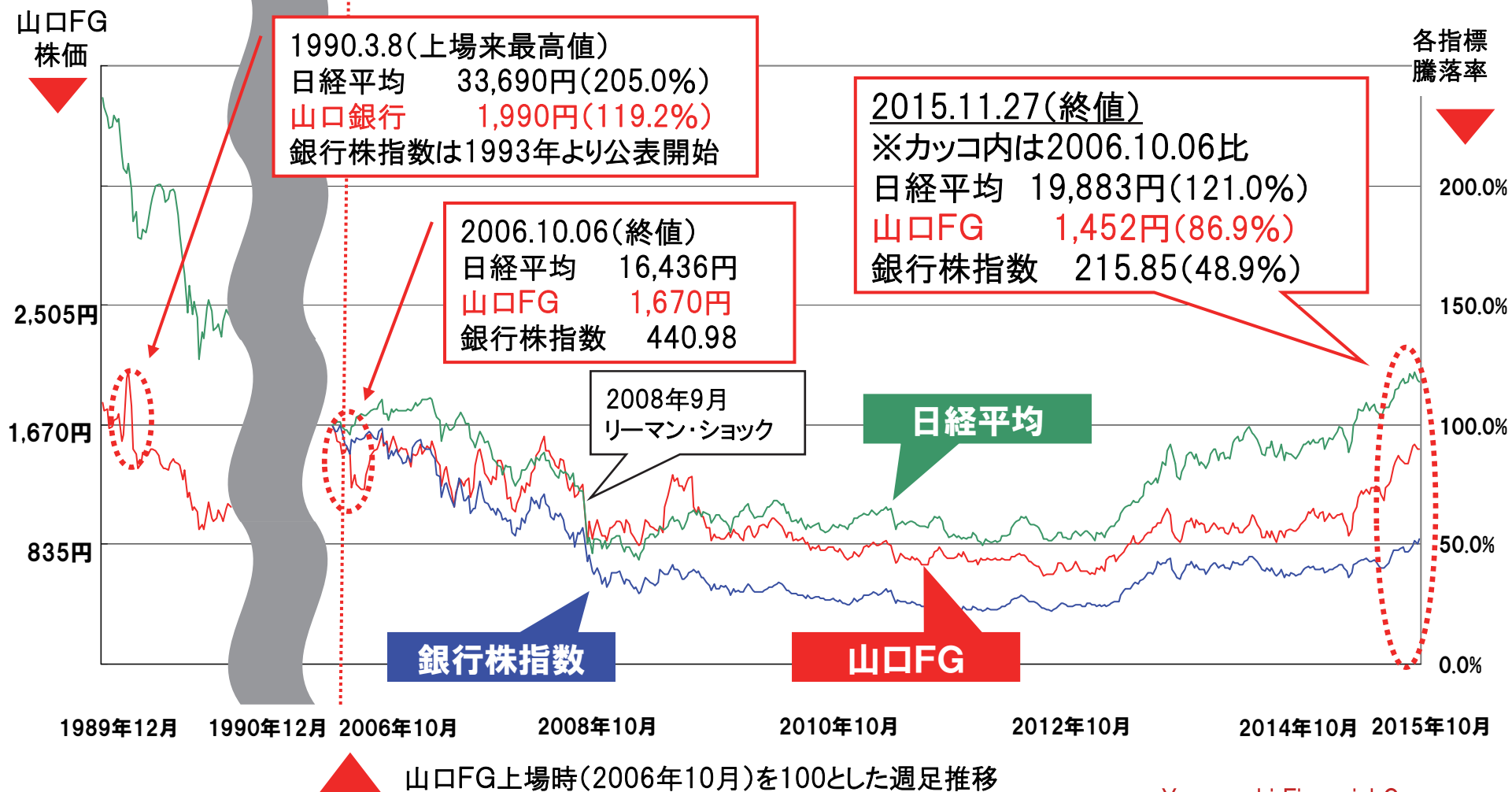
配当実績

- ・ 中長期的な安定配当を基本とした株主還元を実施していく。
- ・ F G 設立以来、継続的に増配を実施し、配当は設立比約 1.5 倍の水準へ。



株価推移

- ・ 2006年10月に上場して以降、2007年頃からは銀行株指数を上回って推移。
- ・ 平成27年11月27日時点の山口FG株価は1,452円（山口FG上場時比86.9%）。



平成28年3月期の業績予想

- ・平成28年3月期は減収・増益決算見込み。増益の主因は経費減、有価証券関連損益増によるもの。
- ・中計最終年度として、経常利益500億円(前年同期比+26億円)、当期利益315億円(前年同期比+10億円)を見込む。

1. 山口FG連結業績予想

(単位:億円)	YMFG連結		
	通期予想	27/3比	中計比
経常収益	1,560	△ 30	-
コア業務粗利益	1,140	△ 9	△ 140
コア業務純益	345	31	△ 85
経常利益	500	26	85
当期利益	315	10	65

2. 3行合算業績予想

(単位:億円)	3行合算	
	通期予想	27/3比
経常収益	1,411	△ 53
コア業務粗利益	1,079	△ 8
資金収支	925	△ 48
役務収支	146	20
経費	707	△ 43
人件費	331	2
物件費	335	△ 44
コア業務純益	372	34
経常利益	525	27
当期利益	355	33
与信費用	△ 8	32

3. 各行単体業績予想

(単位:億円)	山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
	通期予想	27/3比	通期予想	27/3比	通期予想	27/3比
経常収益	795	△ 55	485	△ 31	145	5
コア業務粗利益	600	5	364	△ 19	115	5
資金収支	506	△ 29	317	△ 23	101	3
役務収支	91	14	43	5	11	3
経費(△)	334	△ 35	280	△ 9	93	2
人件費(△)	157	2	131	△ 1	42	1
物件費(△)	159	△ 36	130	△ 10	45	1
コア業務純益	266	41	84	△ 9	22	3
経常利益	350	37	145	△ 9	30	0
当期利益	235	34	100	△ 6	20	5
与信費用	3	9	△ 17	8	6	15

Yamaguchi Financial Group

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

今後の成長戦略について

次期中期経営計画の位置づけ

現状認識

<内部環境>

- ・預貸金収支の縮小
(収益構造として有価証券割合増)

<外部環境>

- ・人口減少、少子高齢化の進展
- ・貯蓄から投資の流れ
- ・相続、資産承継ニーズ増加

<組織>

- ・柔軟性、スピード感の重要性が増している

<人材>

- ・コンサルティング人材の不足
- ・専門人材の戦略的配置が不十分

次期中期経営計画

目指すべき姿

○地域を育み、ともに成長する金融グループ

～Road to “YMFG ZONE”～

○圧倒的な品質でお客様の期待を超える金融グループ

～Amazing “YMFG Quality”～

基本目標

Change the way, Refine the quality, Design the future.

(やり方を変えよう、質に磨きをかけよう、そして未来をデザインしよう。)

○金利競争からの脱却

○プロダクト・アウトからの脱却

行動指針

コンサルティング・ファースト

～全てのお客様に対し、まずコンサルティングから入ること（コンサルティング・ファースト）を徹底する。

次期中期経営計画の全体像

基本目標

Change the way, Refine the quality, Design the future.

ビジネスモデル

金利競争からの脱却
(預貸金や単純サービスの提供)

行動指針

プロダクト・アウトからの脱却
(投資信託や一時払い保険の単品販売)

ソリューション・モデル

(事業性評価機能の拡充: 経営課題の解決
へ提供価値を変更)

コンサルティング
・ファースト

ライフサイクルマネジメント・モデル

(FP機能の発揮: ライフサイクルに応じた最適化
戦略)

重点施策／キーワード

営業体制の変革

事業性評価体制強化 (現場力の強化)

FPブランドの展開

アジア戦略の再構築

／ アジアネットワークの整備、専門人材の戦略的配置

積極的なリスクテイク

／ 小口融資・消費性ローンの推進、リスク対比の収益性追求

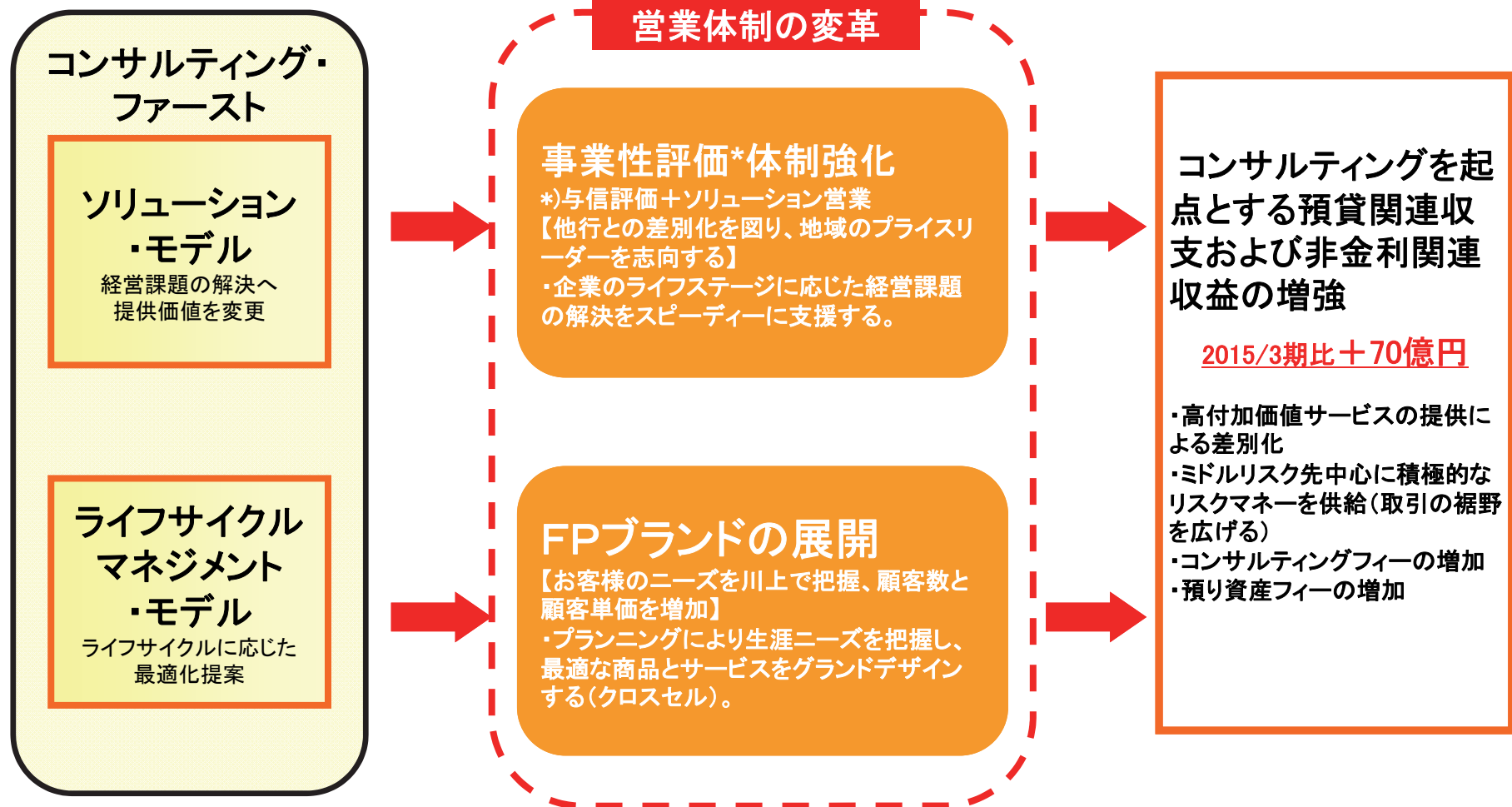
課題解決力の向上

／ 人材育成、本部の専門性向上、ITの活用

Yamaguchi Financial Group

①営業体制の変革～コンサルティング力強化

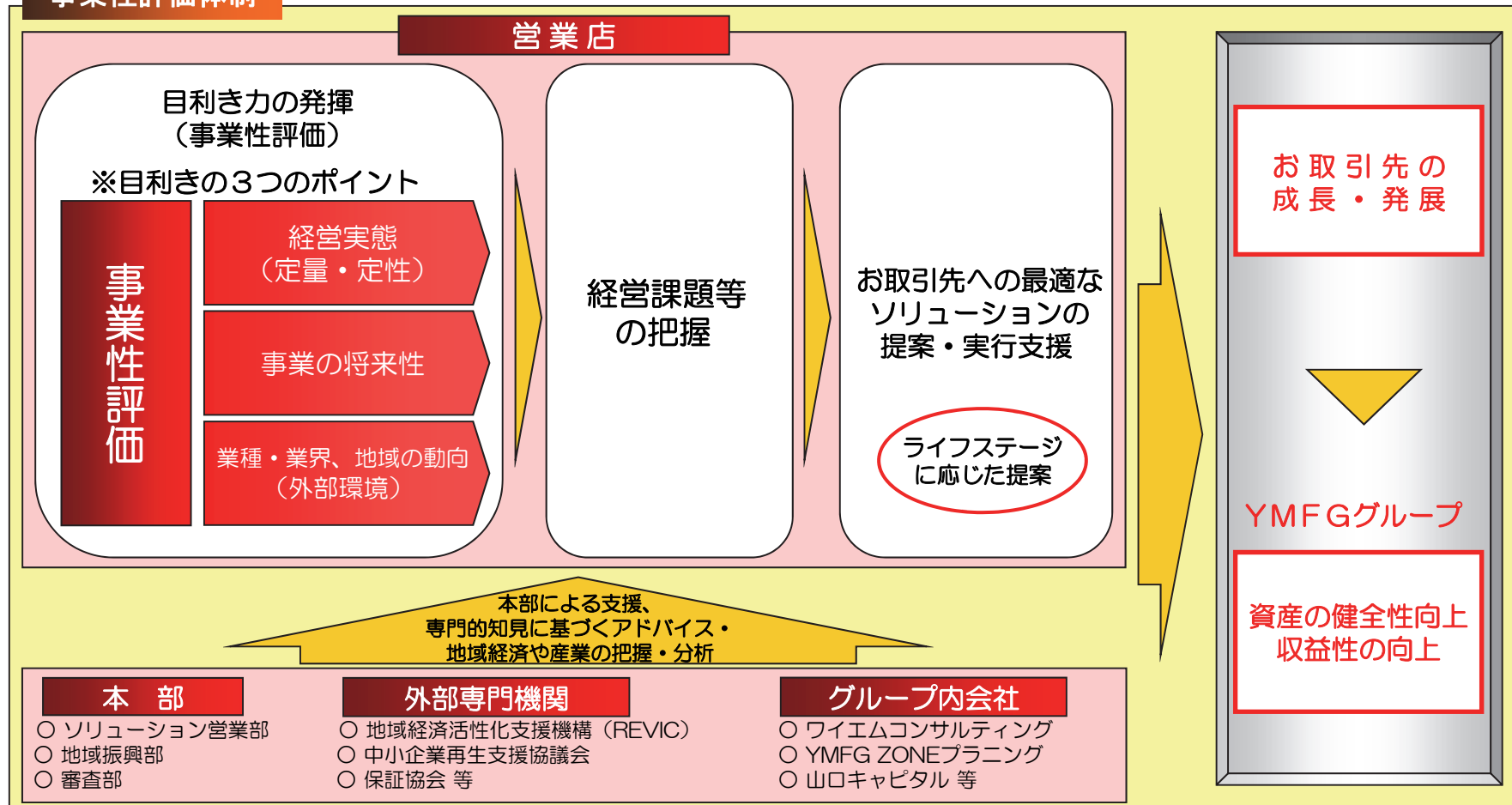
- ◆事業性評価体制強化（現場力の強化）
- ◆FPブランドの展開（マーケット・イン発想によるFP機能の発揮）



事業性評価への取り組みについて

◆ 山口フィナンシャルグループは、お客さまへの最適な課題解決の提案・実行支援として、事業性評価へ積極的に取り組みます。

事業性評価体制

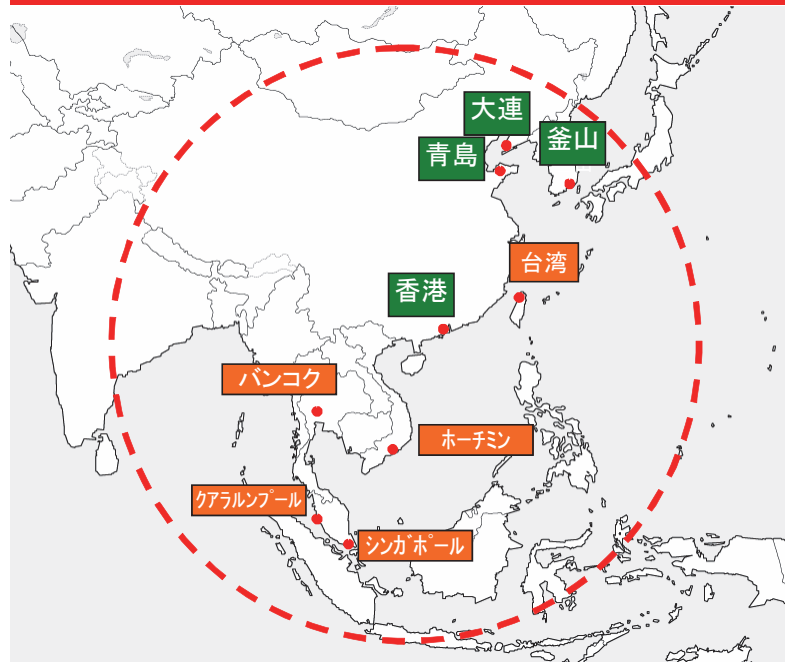


Yamaguchi Financial Group

②アジア戦略の再構築

お客様のアジアの成長取込みニーズに応えるため、必要十分な海外拠点と専門性を持つ人材の育成および戦略的配置を図る。

新YMFGアジアネットワーク構想



《海外人員数イメージ》…次期中計終了時

	現在	次期中計 最終年度
海外拠点	20名	30名程度
業務提携行	2名	10名程度
営業店*	19名	40名程度

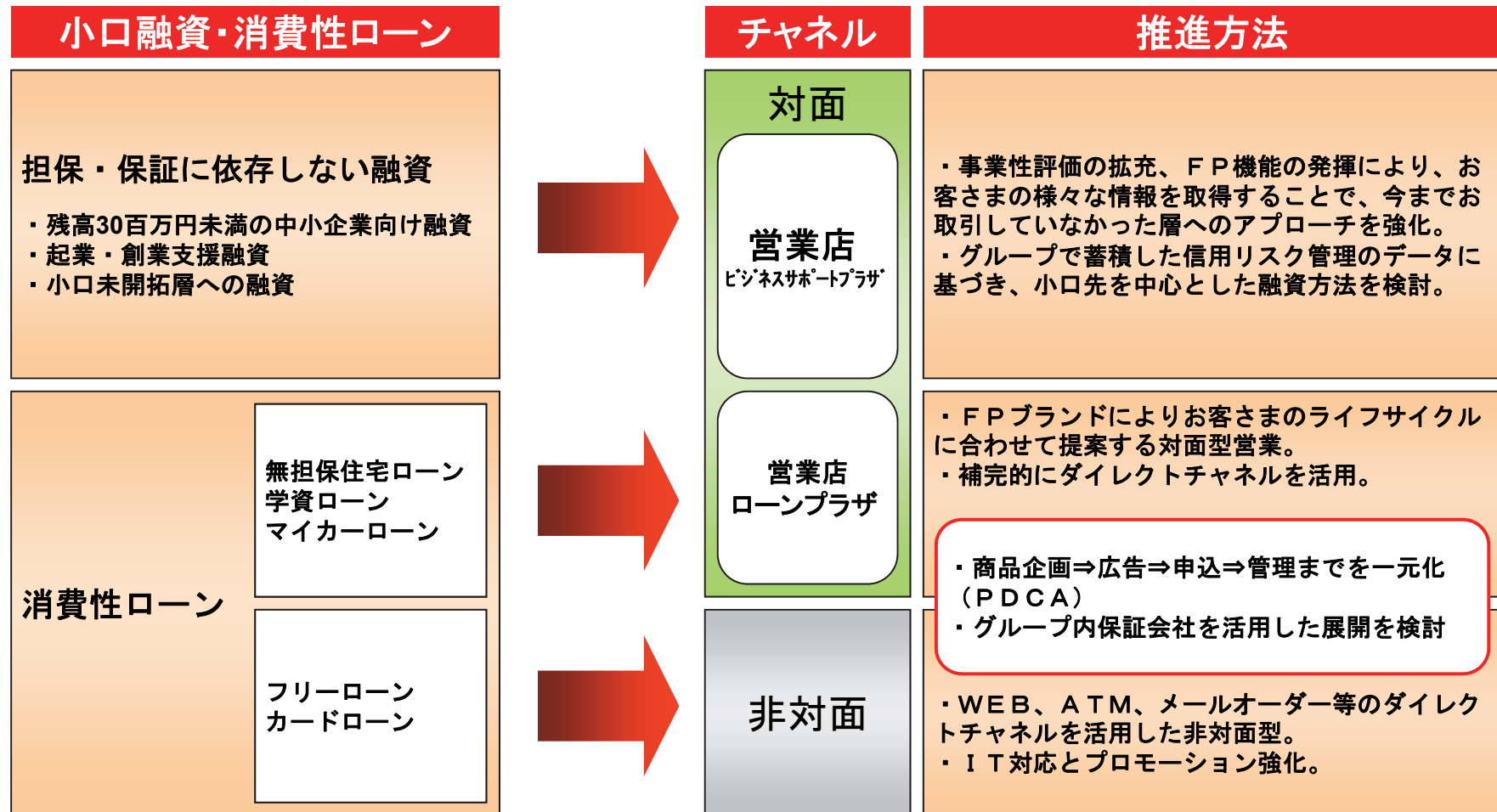
*かつて海外拠点を経験し、現在営業店にいる人員数

TPP参加国を中心に海外拠点（業務提携含む）を設置し、ネットワーク強化を図る。

YMFG ZONEへアジアの成長を取り込むため、新拠点（新たな業務提携）を整備、関連人員増加で真にアジアに強い金融グループへ。

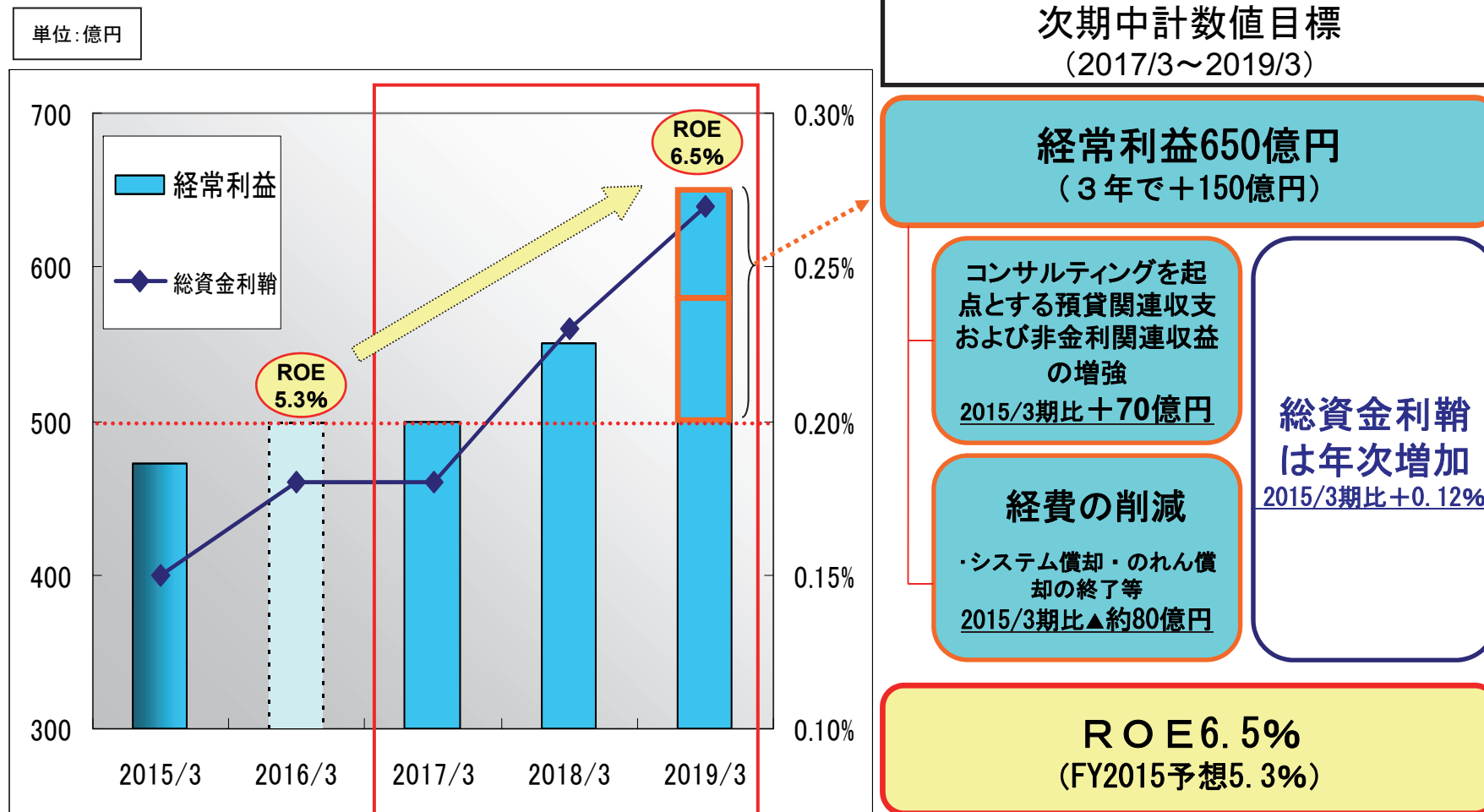
③積極的なリスクテイク

- 事業性評価・リスク管理データ活用により、十分に開拓出来ていない層へのアプローチを強化する。
- FP事業強化および非対面チャネルの強化等により消費性ローンを増強する。



次期中期経営計画の目標について

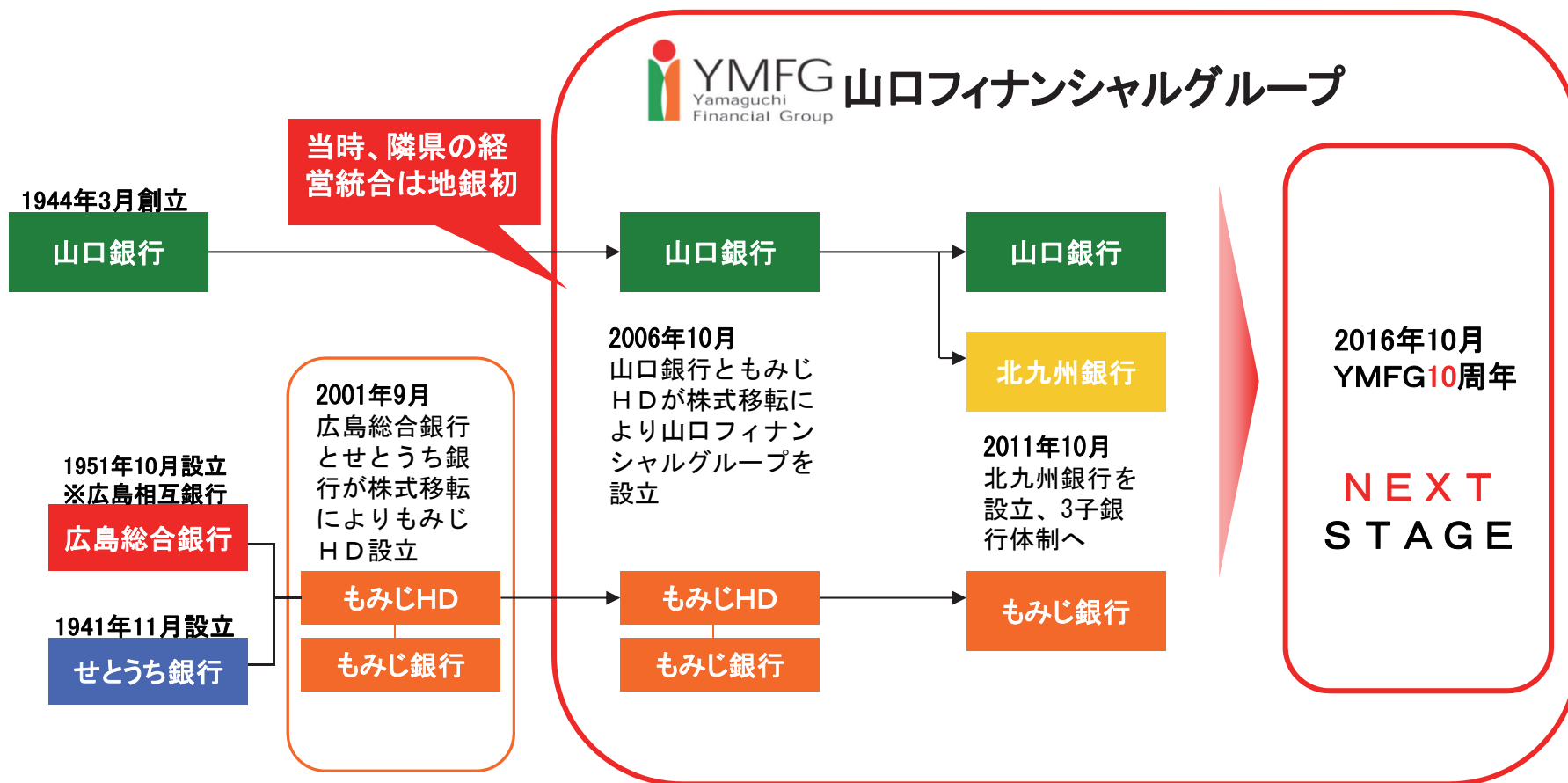
- 厳しい経済環境の中、次の3カ年も増益を計画
- 目指すべき姿を追求し、各項目における目標は以下のとおり



資料編

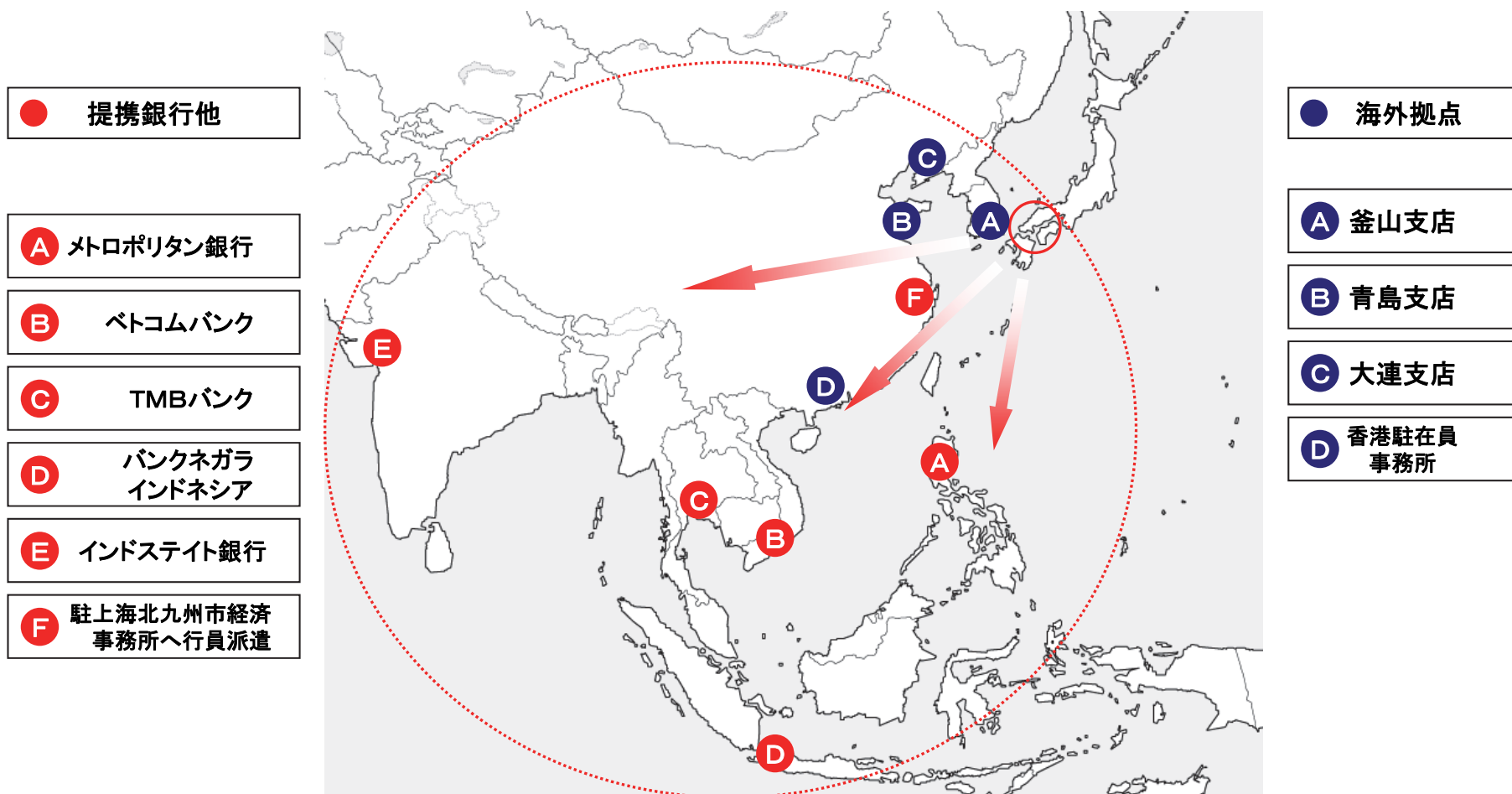
山口フィナンシャルグループの沿革

- ▶ 2006年10月に、山口フィナンシャルグループ設立（山口銀行・もみじHDが共同株式移転）
- ▶ 2011年10月に、北九州銀行設立（山口銀行の九州域内における事業を吸収分割方式にて承継）



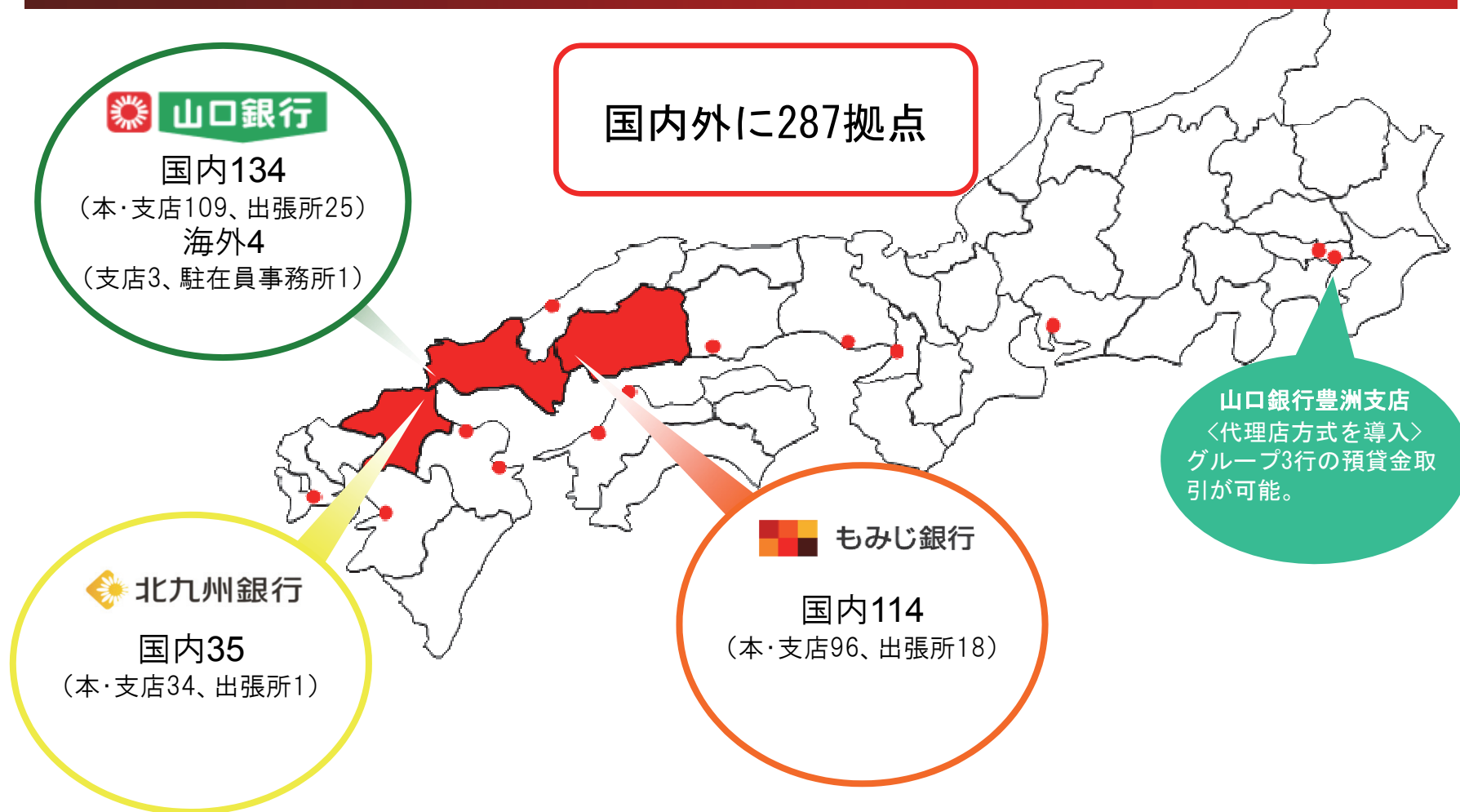
広域なYMFGネットワーク

- ▶ 1973年韓国釜山へ邦銀初の出店(以降、中国大連・青島へも出店)⇒アジア出店の長い歴史(40余年)
- ▶ アジアの外銀との提携戦略により、取引先のアジア進出のサポートを実践



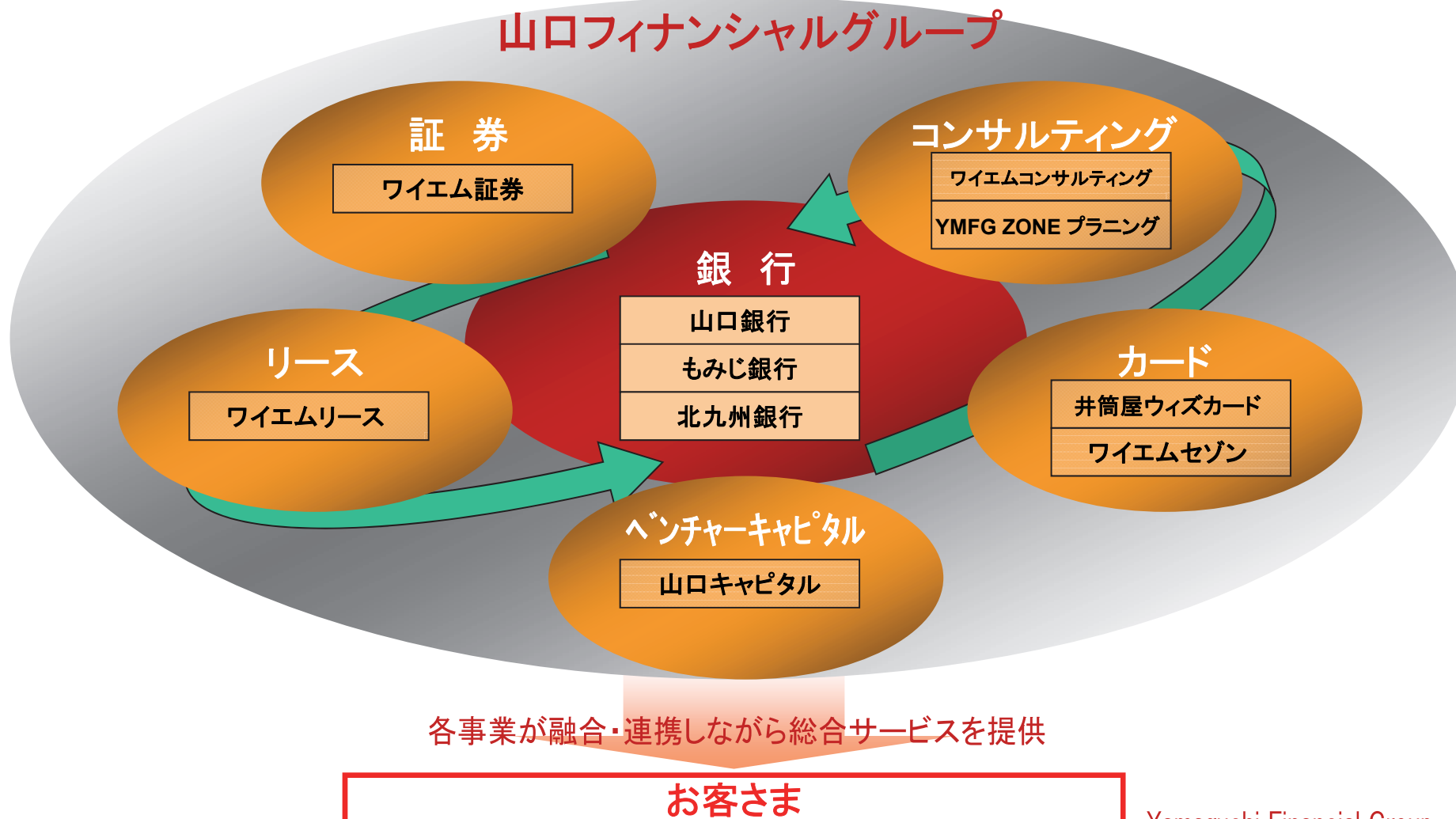
国内店舗チャネル

- ▶ グループ3行で国内283拠点、海外4拠点（2015年9月末現在）。
- ▶ 引き続きお客様の利便性を第一に、特に福岡県・広島県にて出店を検討。



主要グループ会社および事業セグメント

山口フィナンシャルグループは金融コングロマリット化を進め、各事業の専門性を強化



Yamaguchi Financial Group

業績推移(1)FG連結・3行合算

FG連結

(億円)

	24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	622	1,185	579	1,138	555	1,148	542	△ 12
コア業務純益	182	319	150	286	130	314	148	17
経常利益	191	438	253	498	210	473	259	49
当期利益	122	272	158	312	134	305	174	40
ROE	5.18%	5.52%	6.11%	6.04%	5.06%	5.61%	6.09%	1.03%
総資産	90,830	93,272	93,143	96,350	97,383	101,951	100,329	2,946
BIS比率	12.90%	13.34%	12.62%	12.69%	13.21%	13.43%	12.94%	△0.27%

3行合算

(億円)

	24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	599	1,128	544	1,073	527	1,087	518	△ 8
資金利益	478	945	477	949	473	974	478	5
役務取引等利益	46	104	63	123	60	125	62	1
経費	402	786	385	768	383	750	350	△ 32
人件費	180	359	174	346	166	329	162	△ 4
物件費	199	389	191	385	194	380	164	△ 30
コア業務純益	196	341	158	304	143	336	168	24
経常利益	200	457	250	500	225	497	282	56
当期利益	137	304	163	330	155	321	204	49
与信関係費用	9	1	△ 38	△ 69	△ 27	△ 41	△ 14	12

※記載金額の単位未満は切捨て表示

業績推移(2)各行単体

各行単体		(億円)							
		24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	前年同期比
山口銀行	コア業務粗利益	284	579	291	577	289	594	276	△ 13
	資金利益	257	511	252	505	258	535	259	1
	役務取引等利益	29	65	39	76	37	77	39	2
	経費	204	395	192	380	189	369	166	△ 23
	人件費	89	176	84	166	78	155	76	△ 1
	物件費	103	201	97	196	100	195	78	△ 22
	コア業務純益	80	184	99	197	99	224	109	9
	経常利益	93	265	162	306	147	313	184	36
	当期利益	57	167	100	189	98	200	132	33
	与信関係費用	△ 4	△ 14	△ 25	△ 47	△ 10	△ 6	0	10
もみじ銀行	コア業務粗利益	261	441	198	386	183	382	187	4
	資金利益	171	334	176	346	165	340	168	2
	役務取引等利益	14	32	20	38	19	38	18	△ 0
	経費	153	301	150	298	148	289	137	△ 11
	人件費	70	141	68	138	67	132	63	△ 3
	物件費	74	144	73	145	72	140	64	△ 8
	コア業務純益	107	139	48	88	34	93	50	15
	経常利益	103	170	78	173	60	154	84	23
	当期利益	78	125	57	129	45	106	63	17
	与信関係費用	18	18	△ 14	△ 22	△ 10	△ 25	△ 15	△ 5
北九州銀行	コア業務粗利益	53	108	53	108	54	110	55	0
	資金利益	49	99	48	97	49	98	50	1
	役務取引等利益	3	7	3	8	4	8	3	△ 1
	経費	44	89	43	89	45	91	46	1
	人件費	20	41	20	41	20	41	21	0
	物件費	21	43	20	43	21	43	21	0
	コア業務純益	9	18	10	19	9	18	8	△ 0
	経常利益	3	20	8	20	17	29	14	△ 3
	当期利益	2	12	4	11	10	15	9	△ 1
	与信関係費用	△ 5	△ 1	2	△ 0	△ 7	△ 9	0	7

※記載金額の単位未満は切捨て表示

貸出金推移(末残)

山口銀行 (億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	前年同期比
国内貸出金合計	31,802	32,000	32,070	32,696	32,931	34,135	34,123	1,192
法人貸出金	22,050	22,024	21,973	22,461	22,378	23,379	22,989	610
大企業	9,884	10,034	10,323	10,138	10,252	10,709	10,874	621
中堅企業	1,022	971	904	969	957	932	948	△ 9
中小企業等	11,143	11,018	10,745	11,352	11,168	11,737	11,167	△ 1
地公体	4,648	4,771	4,852	4,941	5,234	5,296	5,586	352
外郭団体	190	166	143	93	61	71	38	△ 22
個人ローン	4,912	5,037	5,101	5,200	5,257	5,387	5,509	252
住宅ローン	4,154	4,287	4,376	4,491	4,576	4,723	4,863	287
その他ローン	757	750	724	709	681	664	645	△ 35

もみじ銀行 (億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	前年同期比
国内貸出金合計	17,759	18,279	18,975	19,283	19,539	20,063	20,429	890
法人貸出金	12,130	12,154	12,406	12,152	12,154	12,358	12,366	211
大企業	3,483	3,593	3,553	3,290	3,248	3,336	3,035	△ 213
中堅企業	596	582	600	611	603	643	647	44
中小企業等	8,049	7,978	8,252	8,249	8,302	8,378	8,683	380
地公体	1,736	2,101	2,447	2,819	2,988	3,175	3,449	461
外郭団体	70	64	69	76	60	69	61	0
個人ローン	3,822	3,958	4,051	4,235	4,335	4,460	4,551	216
住宅ローン	3,175	3,351	3,482	3,672	3,804	3,948	4,041	236
その他ローン	647	606	569	562	530	512	510	△ 19

北九州銀行 (億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	前年同期比
国内貸出金合計	7,503	7,654	7,748	8,046	8,417	8,691	9,074	656
法人貸出金	5,967	6,003	6,014	6,227	6,356	6,455	6,624	267
大企業	726	832	825	916	933	934	933	0
中堅企業	566	552	504	500	496	495	498	2
中小企業等	4,674	4,618	4,684	4,810	4,926	5,026	5,191	265
地公体	400	389	388	378	559	659	810	251
外郭団体	29	55	74	89	83	59	53	△ 29
個人ローン	1,106	1,206	1,271	1,350	1,418	1,516	1,586	167
住宅ローン	878	956	1,006	1,069	1,129	1,207	1,269	139
その他ローン	228	249	264	281	289	308	317	27

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

預金推移(末残)

山口銀行

(億円)

		24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	前年同期比
預金		48,663	49,121	48,861	51,281	51,655	54,467	52,647	992
内容別	一般	42,460	42,935	42,760	44,174	44,866	46,740	45,597	731
	うち個人	29,732	30,207	30,476	30,624	31,052	31,460	31,823	771
	うち法人	12,728	12,728	12,284	13,550	13,813	15,280	13,773	△ 40
	公金	2,673	2,594	2,830	2,801	2,913	2,769	2,969	56
	金融	3,529	3,591	3,270	4,305	3,875	4,957	4,080	205
商品別	邦貨定期性預金	27,796	27,034	27,309	28,063	28,958	30,022	29,460	501
	邦貨流動性預金	20,648	21,849	21,327	22,719	22,223	23,533	22,978	754
	外貨預金	218	236	224	497	472	911	209	△ 263

もみじ銀行

(億円)

		24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	前年同期比
預金		27,135	28,172	27,949	28,452	28,112	29,455	29,150	1,038
内容別	一般	25,531	26,270	26,348	26,513	26,518	27,237	27,233	714
	うち個人	19,463	19,620	19,791	19,835	20,022	20,324	20,431	408
	うち法人	6,067	6,650	6,556	6,677	6,495	6,912	6,802	306
	公金	987	1,173	895	1,147	834	1,469	1,156	321
	金融	616	727	705	792	759	749	761	2
商品別	邦貨定期性預金	15,731	16,536	15,900	16,081	15,529	16,493	15,978	449
	邦貨流動性預金	11,314	11,548	11,981	12,314	12,519	12,897	13,107	587
	外貨預金	90	87	66	56	63	64	64	1

北九州銀行

(億円)

		24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	前年同期比
預金		7,118	7,269	7,766	8,298	8,616	8,948	9,449	832
内容別	一般	6,652	6,960	7,240	7,793	8,084	8,452	8,581	497
	うち個人	3,764	4,192	4,363	4,517	4,692	4,895	4,976	284
	うち法人	2,887	2,768	2,876	3,276	3,392	3,556	3,605	212
	公金	419	254	463	277	432	267	647	214
	金融	46	55	61	227	98	228	220	121
商品別	邦貨定期性預金	4,183	4,398	4,826	4,972	5,240	5,322	5,873	633
	邦貨流動性預金	2,800	2,751	2,842	3,242	3,310	3,547	3,506	195
	外貨預金	133	119	96	82	65	78	69	4

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

※NCD含む

Yamaguchi Financial Group

資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)

山口銀行 (億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	前年同期比
資金運用勘定計	48,234	48,589	50,390	51,041	52,804	53,425	55,682	2,878
貸出金	30,445	30,803	31,707	32,086	32,785	33,160	34,242	1,457
有価証券	13,416	13,591	15,077	14,864	16,072	16,047	14,894	△ 1,178
コールローン	4,142	3,927	3,158	3,175	1,793	2,019	2,703	910
資金調達勘定計	46,738	46,981	48,748	49,257	50,792	51,348	53,546	2,754
預金	42,158	42,944	45,170	45,668	46,565	46,838	48,253	1,688
譲渡性預金	4,808	4,168	3,327	3,209	3,488	3,745	4,763	1,275
コールマネー	346	396	608	664	925	896	659	△ 266

もみじ銀行 (億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	前年同期比
資金運用勘定計	27,059	27,102	27,630	28,290	28,381	28,536	29,390	1,009
貸出金	18,431	18,024	18,418	18,763	19,120	19,376	20,060	940
有価証券	6,941	7,310	8,427	8,109	7,050	6,992	6,962	△ 88
コールローン	1,620	1,700	724	653	441	443	503	62
資金調達勘定計	26,286	26,382	27,465	27,491	27,622	27,766	28,620	998
預金	25,281	25,325	25,907	26,032	26,407	26,533	27,136	729
譲渡性預金	828	880	1,379	1,249	969	980	1,270	301
コールマネー	8	9	11	12	9	10	12	3

北九州銀行 (億円)

	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	前年同期比
資金運用勘定計	7,319	7,500	7,841	8,208	8,781	8,927	9,459	678
貸出金	7,011	7,194	7,581	7,696	8,146	8,296	8,779	633
有価証券	148	148	135	137	168	177	194	26
コールローン	124	123	89	75	47	41	28	△ 19
資金調達勘定計	6,844	7,024	7,378	7,525	8,081	8,228	8,759	678
預金	6,087	6,307	6,775	6,937	7,459	7,618	8,034	575
譲渡性預金	464	415	556	560	617	602	712	95
コールマネー	288	297	42	25	1	4	0	△ 1

※金額は単位未満を四捨五入表示。

利回り・利鞘推移

山口銀行		24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	前年同期比
資金運用利回	①	1.177	1.164	1.103	1.090	1.070	1.093	1.019	△ 0.051
貸出金利回	ア	1.461	1.431	1.339	1.313	1.262	1.248	1.191	△ 0.071
有価証券利回		0.843	0.841	0.811	0.846	0.884	0.997	0.971	△ 0.087
コールローン利回		0.147	0.160	0.174	0.166	0.209	0.218	0.300	0.091
資金調達利回	②	0.116	0.115	0.108	0.104	0.097	0.095	0.092	△ 0.005
預金利回		0.099	0.098	0.096	0.091	0.084	0.081	0.079	△ 0.005
譲渡性預金利回		0.146	0.147	0.116	0.111	0.094	0.097	0.095	0.001
コールマネー利回		0.974	0.891	0.513	0.513	0.428	0.453	0.557	0.129
経費率	③	0.872	0.841	0.786	0.772	0.745	0.720	0.620	△ 0.125
資金調達原価 (②+③)	④	0.988	0.956	0.894	0.877	0.842	0.815	0.713	△ 0.129
預金等原価	イ	0.972	0.941	0.887	0.871	0.841	0.813	0.707	△ 0.134
預金等利回	ウ	0.104	0.103	0.097	0.092	0.085	0.082	0.080	△ 0.005
経費率		0.868	0.838	0.790	0.778	0.756	0.730	0.626	△ 0.130
預貸金利鞘 (ア-イ)		0.489	0.490	0.452	0.442	0.421	0.435	0.484	0.063
預貸金単純利鞘 (ア-ウ)		1.357	1.328	1.242	1.221	1.177	1.166	1.111	△ 0.066
預証単純利鞘		0.739	0.738	0.714	0.754	0.799	0.915	0.891	0.092

もみじ銀行		24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	前年同期比
資金運用利回	①	1.351	1.317	1.357	1.305	1.237	1.261	1.203	△ 0.034
貸出金利回	ア	1.668	1.653	1.534	1.498	1.412	1.379	1.291	△ 0.121
有価証券利回		0.783	0.725	1.066	1.057	1.114	1.289	1.322	0.208
コールローン利回		0.124	0.120	0.115	0.115	0.124	0.122	0.119	△ 0.005
資金調達利回	②	0.087	0.084	0.085	0.082	0.073	0.070	0.061	△ 0.012
預金利回		0.081	0.078	0.078	0.076	0.067	0.063	0.051	△ 0.016
譲渡性預金利回		0.148	0.139	0.114	0.118	0.116	0.115	0.099	△ 0.017
コールマネー利回		0.395	0.297	0.225	0.260	0.320	0.346	0.498	0.178
経費率	③	1.167	1.144	1.091	1.084	1.071	1.042	0.955	△ 0.116
資金調達原価 (②+③)	④	1.254	1.228	1.176	1.166	1.144	1.112	1.016	△ 0.128
預金等原価	イ	1.258	1.232	1.179	1.171	1.150	1.117	1.016	△ 0.134
預金等利回	ウ	0.083	0.080	0.080	0.078	0.069	0.065	0.053	△ 0.016
経費率		1.175	1.152	1.098	1.093	1.080	1.052	0.962	△ 0.118
預貸金利鞘 (ア-イ)		0.410	0.421	0.355	0.327	0.262	0.262	0.275	0.013
預貸金単純利鞘 (ア-ウ)		1.585	1.573	1.454	1.420	1.343	1.314	1.238	△ 0.105
預証単純利鞘		0.700	0.645	0.986	0.979	1.045	1.224	1.269	0.224

北九州銀行		24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	前年同期比
資金運用利回	①	1.479	1.455	1.372	1.309	1.224	1.210	1.159	△ 0.065
貸出金利回	ア	1.482	1.462	1.375	1.352	1.271	1.251	1.196	△ 0.075
有価証券利回		2.193	1.960	1.987	1.996	2.004	2.000	2.066	0.062
コールローン利回		0.743	0.671	0.395	0.401	0.454	0.470	0.484	0.030
資金調達利回	②	0.139	0.139	0.138	0.130	0.117	0.111	0.102	△ 0.015
預金利回		0.136	0.137	0.136	0.128	0.114	0.108	0.096	△ 0.018
譲渡性預金利回		0.161	0.155	0.131	0.134	0.138	0.139	0.153	0.015
コールマネー利回		0.115	0.116	0.119	0.123	0.435	0.194	0.098	△ 0.337
経費率	③	1.289	1.280	1.177	1.192	1.114	1.107	1.063	△ 0.051
資金調達原価 (②+③)	④	1.428	1.420	1.316	1.322	1.232	1.218	1.165	△ 0.067
預金等原価	イ	1.484	1.476	1.321	1.325	1.231	1.218	1.166	△ 0.065
預金等利回	ウ	0.137	0.138	0.135	0.128	0.116	0.110	0.101	△ 0.015
経費率		1.346	1.338	1.185	1.196	1.115	1.108	1.065	△ 0.050
預貸金利鞘 (ア-イ)		△ 0.002	△ 0.014	0.054	0.027	0.040	0.033	0.030	△ 0.010
預貸金単純利鞘 (ア-ウ)		1.345	1.324	1.240	1.224	1.155	1.141	1.095	△ 0.060
預証単純利鞘		2.056	1.822	1.852	1.868	1.888	1.890	1.965	0.077

※単位未満を切捨表示。

債務者区分の遷移状況(平成27年3月末⇒平成27年9月末)

(1)山口銀行

(億円)

			27年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
27年3月末	正常先	25,915	25,429	244	0	0	0	-	241	
	要注意先	その他	3,991	454	3,264	7	3	1	12	247
		要管理先	109	-	11	94	0	-	-	3
	破綻懸念先	308	-	8	-	277	14	5	3	
	実質破綻先	86	-	-	-	-	84	0	1	
	破綻先	68	-	-	-	-	-	59	9	

ランクダウン 289億円

ランクアップ 474億円

(2)もみじ銀行

(億円)

			27年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
27年3月末	正常先	12,432	12,180	124	0	0	0	-	126	
	要注意先	その他	3,328	345	2,935	2	4	1	0	39
		要管理先	32	-	6	25	0	-	-	0
	破綻懸念先	137	0	3	-	128	1	-	2	
	実質破綻先	101	-	-	-	-	95	1	4	
	破綻先	65	-	-	-	-	0	64	1	

ランクダウン 138億円

ランクアップ 355億円

(3)北九州銀行

(億円)

			27年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
27年3月末	正常先	4,949	4,687	215	0	-	-	-	46	
	要注意先	その他	2,822	430	2,328	7	6	0	0	48
		要管理先	26	-	5	17	0	-	-	2
	破綻懸念先	68	-	2	-	63	0	-	1	
	実質破綻先	30	-	-	-	8	22	-	0	
	破綻先	70	-	-	-	-	-	70	0	

ランクダウン 232億円

ランクアップ 446億円

債務者区分の遷移状況(平成26年9月末⇒平成27年9月末)

(1) 山口銀行 (億円)

			27年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
26年9月末	正常先	24,901	24,153	304	0	0	9	6	427	
	要注意先	その他	3,818	601	3,031	12	5	1	14	150
		要管理先	170	-	60	93	6	-	-	9
	破綻懸念先	336	-	15	-	274	32	-	14	
	実質破綻先	79	-	-	-	0	68	5	5	
	破綻先	69	-	-	-	-	-	55	13	

ランクダウン 399億円

ランクアップ 678億円

(2) もみじ銀行 (億円)

			27年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
26年9月末	正常先	11,928	11,395	252	0	0	0	0	277	
	要注意先	その他	3,335	483	2,718	3	6	4	7	110
		要管理先	38	4	8	24	0	-	0	0
	破綻懸念先	163	0	17	0	132	4	0	9	
	実質破綻先	123	-	-	-	-	92	2	27	
	破綻先	108	-	-	-	-	-	60	47	

ランクダウン 284億円

ランクアップ 514億円

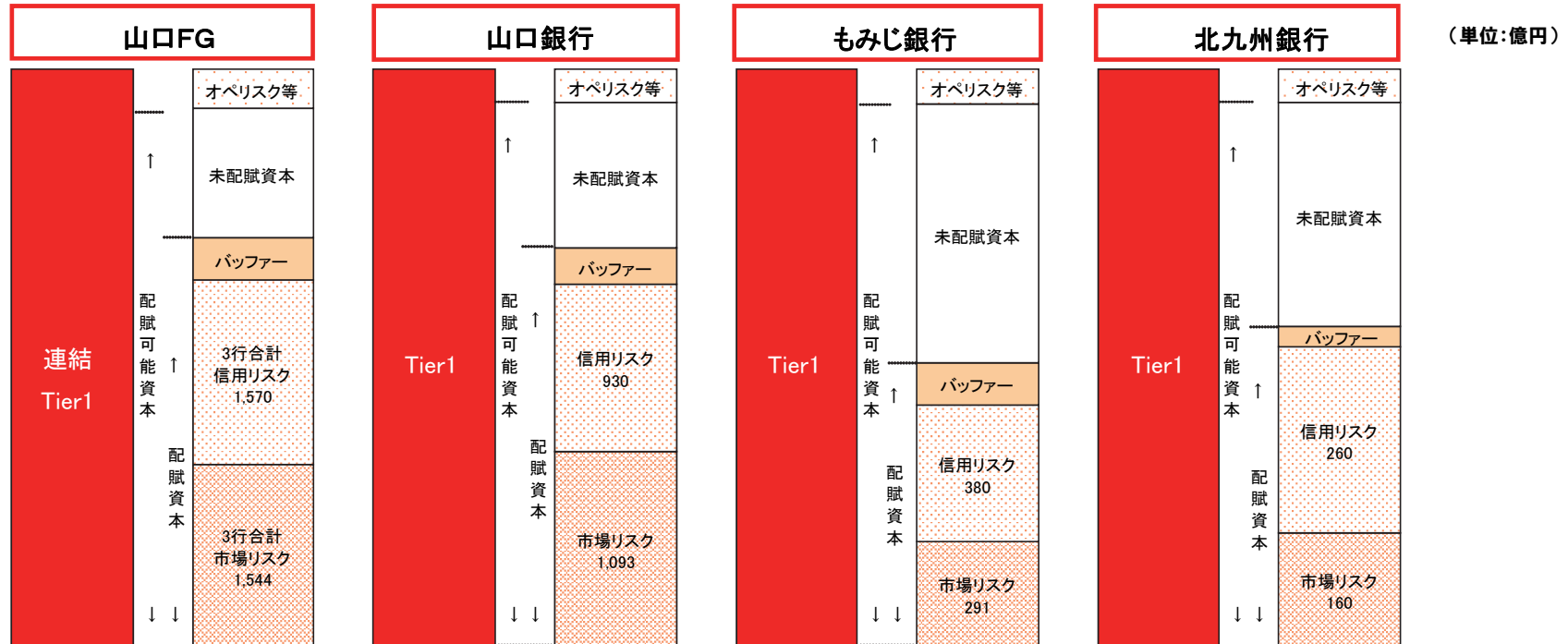
(3) 北九州銀行 (億円)

			27年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
26年9月末	正常先	4,718	4,347	275	0	-	0	-	94	
	要注意先	その他	2,835	547	2,155	12	13	0	4	101
		要管理先	28	-	11	12	0	0	1	1
	破綻懸念先	63	-	3	-	57	0	-	1	
	実質破綻先	42	-	-	-	8	25	7	0	
	破綻先	68	-	-	-	-	-	64	4	

ランクダウン 317億円

ランクアップ 570億円

リスク資本配賦



		山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行	3行合計
信用リスク	リスク量('15/9末)	646	264	176	1,086
	資本配賦額	930	380	260	1,570
	使用率	69.5%	69.5%	67.7%	
市場リスク	リスク量('15/9末)	712	193	134	1,039
	資本配賦額	1,093	291	160	1,544
	使用率	65.1%	66.3%	83.8%	

・FG連結Tier1を配賦原資とし、計画に沿って各行へ配賦する。

・Tier1 : 普通株式等Tier1+その他Tier1
(グループ全体を統一的に管理するために、山口FG、および各銀行とも国際統一基準に基づきTier1を算出)

・バッファー : 想定以上の環境変化や計量できないリスクへの備え等

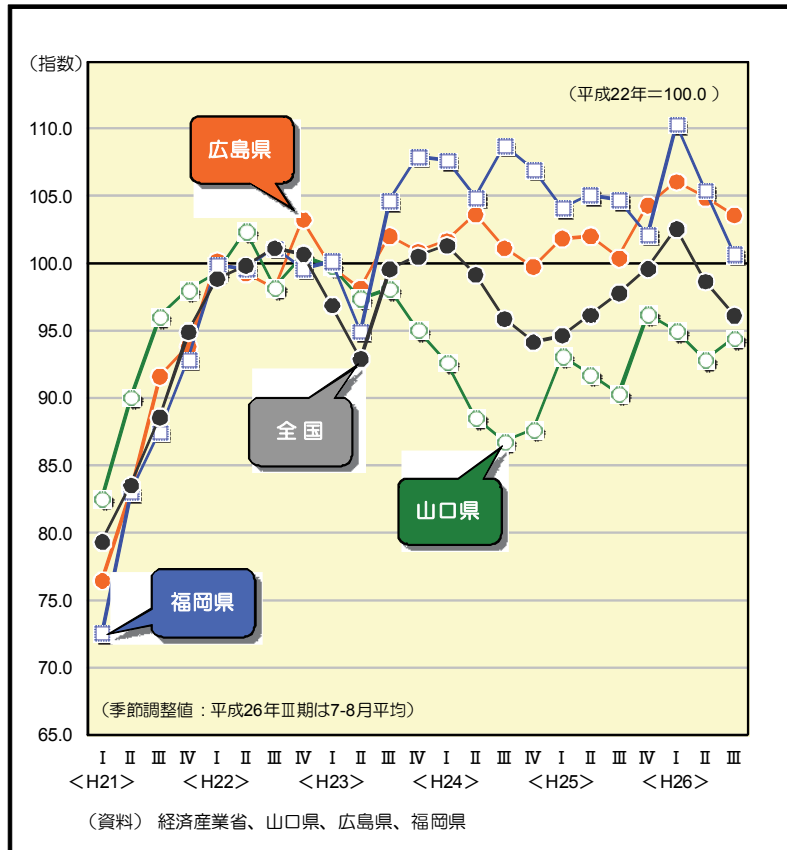
地区別経済概況

	北九州市 ～北九州地区の経済は 緩やかに回復している～	山口県 ～景気は緩やかに回復している～	広島県 ～景気は緩やかに回復している～
生産	新興国経済の減速を受けて海外向けの一部で弱めの動きがみられている一方、国内向けでは自動車関連や住設機器で持ち直しの動きがみられることから、全体としては横ばい圏内で推移している。	新型車の生産が開始され、自動車の稼働率が高めで推移。また、窯業・土石は、大震災の復興需要等から、高めの稼働率を維持し、化学、鉄鋼等の生産も堅調に推移するなど、生産活動全体としては底堅い状況にある。	輸出が好調なことから、自動車がフル操業を維持し、電気機械（スマートフォン向け部品等）や鉄鋼が高操業を続けるなど、全体でも緩やかな増加傾向となっている。
設備投資	企業収益が堅調に推移する中で、基調としては緩やかに増加している。日本銀行北九州支店管内「短観」調査では、2015年度の設備投資額（計画）は、前年度に比べ製造業が3.2%減少、非製造業が32.9%減少、全体では15.7%の減少となっている。	平成26年度の設備投資計画額は（山口経済研究所調べ）、大手化学メーカーが揃って投資額を増額するなど、全体でも3年ぶりに前年度を上回る見通し（前年度比+31.7%）となっている。	平成26年度の設備投資計画額（日銀広島支店調べ）は、非製造業（前年度比▲4.6%）が前年割れとなる一方、製造業（同+32.6%）が大幅に前年を上回り、全体でも同10.1%増加と2年連続の前年比プラスとなっている。
輸出	引き続き増加しているものの、増勢が鈍化している。	輸出額は、防府港の西欧、中東向け等の自動車が増加傾向で推移している一方、徳山港や宇部港のアジア向け有機化合物、下関港の半導体等製造装置等が減少する動きもみられる。	一般機械を中心として増加傾向で推移している。
個人消費	所得環境の改善に加え、気温が低めに推移したことや、9月の大型連休の押し上げ効果もあって、持ち直している。	消費税率引き上げの影響が緩和しつつあることから、大型小売店販売額等が持ち直しているものの、乗用車新車販売台数が前年割れとなるなど、一部に弱さがみられる。	消費税率引き上げの影響が続く乗用車販売は弱めで推移している一方、同影響が緩和していること等から、百貨店販売、家電量販店販売等が持ち直すなど、基調としては底堅い推移となっている。
公共工事	弱含んでおり、2015年6月～9月期の公共工事請負額は前年同期比で19.4%減少した。	平成26年度累計の公共工事請負金額は、岩国飛行場関連を中心とする大型工事の増加もあって、国、県、市町からの発注がいずれも増加し、全体でも前年度を1割近く上回って12年ぶりの高水準となっている。	平成26年度累計の公共工事請負金額は、前年度比3.4%減少と前年を若干下回る水準となっている。但し、足元では8月の豪雨災害の復旧工事に伴い、建設業者の繁忙度が増しているとみられる。
住宅建築	持ち直しつつある。2015年度上期の新設住宅着工戸数は前年同期比で20.1%増加した。	今年7-9月期の新設住宅着工戸数は、消費税増税の影響等から、持家が不振となっているほか、分譲マンションも大幅な前年割れを続け、全体でも3四半期連続の前年比マイナスと減少傾向にある。	今年7-9月期の着工戸数は前年比19.8%減少と3四半期連続で前年を下回っており、消費税率引き上げの影響によって持家を中心に減少傾向となっている。
雇用情勢	緩やかに改善しており、2015年9月の有効求人倍率は1.07倍となっている。	今年7-9月期の有効求人倍率は1.09倍と6年ぶりの高水準を維持し、製造業の所定外労働時間も前年を上回る水準で推移するなど、基調としては改善傾向となっている。	今年7-9月期の有効求人倍率は1.25倍で高水準にあるほか、雇業者所得も増加するなど、改善傾向を続けている。
企業倒産	2015年度上期の企業倒産（負債総額100万円以上）は、件数、負債額ともに前年同期を上回った。	今年累計（1-9月）の倒産件数、負債総額はいずれも前年を下回っており、全体でもと小売状態が続いている。	倒産件数、負債総額ともに減少傾向となっている。

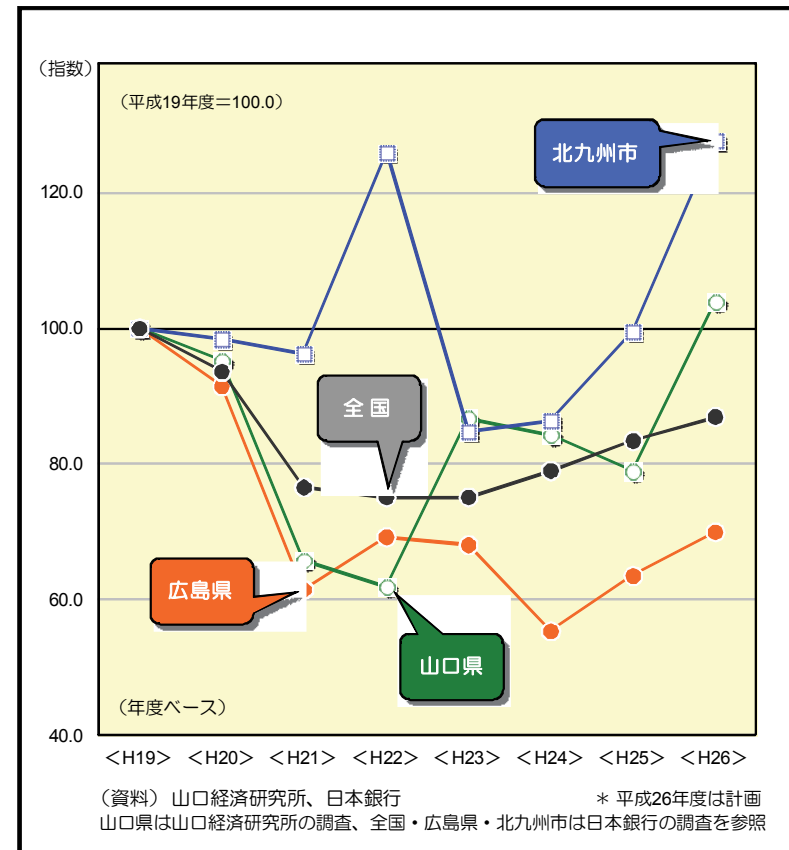
地域経済概況(鉱工業生産・設備投資)

- ◆ 鉱工業生産指数: 主要業種の生産が底堅く推移
- ◆ 設備投資額(平成26年度): 山口県(前年度比+31.7%)が3年ぶりのプラス、広島県(同+10.1%)は2年連続のプラス、北九州市(同+28.4%)は3年連続のプラス

鉱工業生産指数の推移



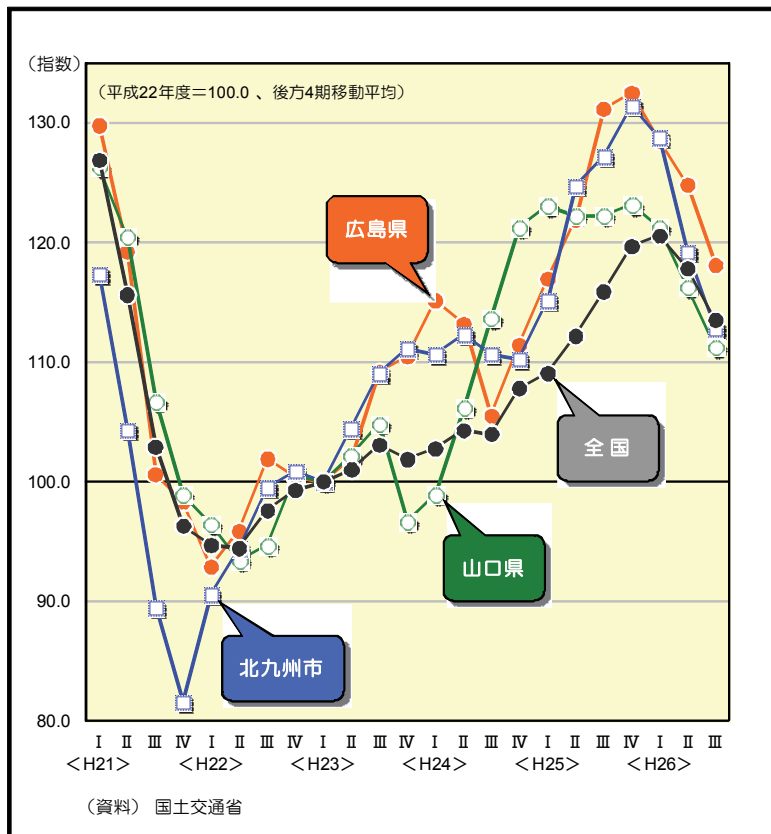
設備投資額の推移



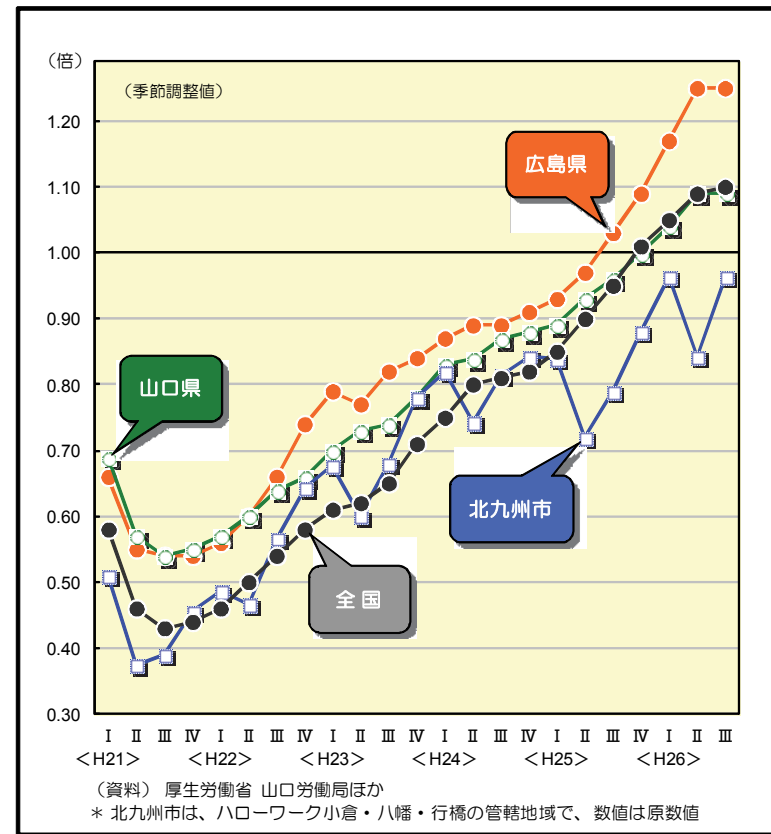
地域経済概況(住宅建築・雇用情勢)

- ◆住宅着工戸数:消費増税の影響から、減少傾向で推移
- ◆雇用情勢:有効求人倍率が高水準を維持するなど、基調として改善傾向

新設住宅着工戸数の推移



有効求人倍率の推移



本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

【 本日の会社説明会に関するご照会先 】

株式会社 山口フィナンシャルグループ

総合企画部 久 保

カスタマーコミュニケーション部 平 中

TEL 083-223-7120

FAX 083-233-5850

<http://www.ymfg.co.jp/>